

ぐんま緑の県民基金事業
平成26～28年度 中間評価検証報告書
VI 資料集



平成29年11月
群馬県

【もくじ】

●	ぐんま緑の県民基金関係	
	【平成26年度】1
	・財源(ぐんま緑の県民基金)内訳1
	・使い道(ぐんま緑の県民基金事業)内訳1
	【平成27年度】2
	・財源(ぐんま緑の県民基金)内訳2
	・使い道(ぐんま緑の県民基金事業)内訳2
	【平成28年度】3
	・財源(ぐんま緑の県民基金)内訳3
	・使い道(ぐんま緑の県民基金事業)内訳3
	・ぐんま緑の県民基金4
	・ぐんま緑の県民基金の流れ4
	・平成26～28年度ぐんま緑の県民税収実績(県の税収等)5
	・ぐんま緑の県民基金運用実績(県から基金への積立)5
	・寄附金の一覧5
●	水源地域等の森林整備関係	
	・水源地域等の森林整備の事業内容6
	(ぐんま緑の県民基金水源地域等の森林整備事業実施要綱 別表)	
	・5年間の整備計画6
	・条件不利地森林整備事業イメージ7
	・水源林機能増進事業イメージ8
	・松くい虫被害地の再生事業イメージ9
	・水源地域等の森林整備の実施状況について10
●	森林ボランティア活動・森林環境教育の推進関係	
○	森林ボランティア活動の推進11
	・森林ボランティア支援センター11
	・モリノワ12
○	森林環境教育の推進12
●	市町村提案型事業関係	
	・市町村提案型事業実施報告13
	・アンケート結果による判定結果一覧表51
	・市町村提案型事業 市町村別 一覧52
	・市町村提案型事業の事業内容55
	(ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業補助金交付要綱 別表1)	

●	制度運営関係	
○	普及啓発	……56
	・ポスター・リーフレットによる普及啓発	……56
	・広報媒体を利用した普及啓発	……57
	・出前講座・市町村説明会・地元説明会	……57
	・バスツアー	……58
	・バスツアー参加者アンケート結果	……59
○	評価検証(評価検証委員会)	……62
	・ぐんま緑の県民税評価検証委員【平成26年度】	……62
	・ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催状況【平成26年度】	……63
	・ぐんま緑の県民税評価検証委員【平成27年度】	……65
	・ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催状況【平成27年度】	……66
	・ぐんま緑の県民税評価検証委員【平成28年度】	……67
	・ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催状況【平成28年度】	……68
○	評価検証委員会の意見	……69
●	ぐんま緑の県民税の仕組み	……72

ぐんま緑の県民基金関係

【平成26年度】

財源（ぐんま緑の県民基金）内訳

		金額:千円		
区分	計画	実績		
財源	平成26年度税収(税収相当額)	621,446	621,445	
	寄附金	1,000	299	
	運用益		12	
	合計	622,446	621,755	

※端数処理のため合計値は一致しません

使い道（ぐんま緑の県民基金事業）内訳

		金額:千円					
区分	事業内容	計画値	実績値	計画	実績	担当課	
水源地域等の森林整備				386,092	78,081		
条件不利地 森林整備	地理的、地形的な条件により林業経営が成り立たず放置されている条件不利な森林の間伐等を実施	区域調査委託	970ha	940ha	322,196	53,810	
		実施調査委託	970ha	254ha			
		森林整備	360ha	—			
水源林機能増進	簡易水道等の上流部の森林で水源涵養機能等の低下が懸念される森林を整備し、水源涵養機能を増進	区域調査委託	150ha	401ha	40,250	17,788	
		実施調査委託	150ha	80ha			
		森林整備	50ha	—			
松くい虫被害地の再生	松くい虫被害木が放置され、笹竹が繁茂した森林をコナラやスギなどの森林に再生	区域調査委託	50ha	162ha	22,766	6,156	
		実施調査委託	50ha	32ha			
		森林整備	10ha	—			
事務費	旅費、備品、消耗品費	—	—	880	328		
ボランティア活動・森林環境教育の推進				6,314	4,611		
ボランティア活動の推進	ボランティア情報の収集と提供、指導や森林整備器具の貸出など一体的なサポートを行う森林ボランティア支援センターを整備	森林ボランティア支援センター設置 HP運用開始	H27.4	H26.10	5,100	3,718	
		取扱安全講習会	10回	11回			
		森林整備器具の貸出し	—	47回			
森林環境教育の推進	森林環境教育を推進するため、専門知識を有した指導者を育成	指導者育成カリキュラム作成 受講者募集	—	—	1,214	893	
		指導者養成講座	4回 20名認定	4回 29名認定			
市町村提案型事業	地域の実状に合わせ市町村やボランティア団体等が取り組む事業を支援	①荒廃した里山・平地林の整備 ②貴重な自然環境の保護・保全 ③森林環境教育・普及啓発 ④森林の公有林化 ⑤独自提案事業	—	—	190,000	74,706	林政課
制度運営				40,040	37,309		
普及啓発	ぐんま緑の県民税への理解を深めるため、税のしくみ、森林の役割や大切さの普及啓発活動を実施	納税通知書に同封するチラシの作成	—	—	1,848	834	税務課
		普及資料の(チラシ・ポスター等)作成	—	—	2,936	1,825	林政課
		新聞広告 事業地等をバスで巡る 現地説明会	3紙 3回 (バス3台)	3紙 2回 (バス3台)			
評価検証	事業の内容検討・実績評価・効果検証などを行う第三者機関を運営	ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催	3回	3回	595	408	林政課
		事業の客観的な効果検証を行うために必要な調査・分析	間伐前と間伐後の森林の状況を調査し、事業の効果を検証	20カ所	20カ所	663	663
ぐんま緑の県民税導入経費	市町村において、納税通知書にチラシを同封することに伴い増加する郵便料金・封入費用の実費相当額及び賦課徴収に係る事務手続の増加に対する経費相当額を負担	35市町村	35市町村	33,998	33,578	税務課	
合計				622,446	194,706		

※端数処理のため合計値は一致しません

【平成27年度】

財源（ぐんま緑の県民基金）内訳

		金額:千円		
区分	計画	実績		
財源	平成27年度税収(税収相当額)	819,828	819,833	
	寄附金	1,000	1,844	
	運用益	277	274	
	前年度基金残	427,049	427,049	
	合計	1,248,154	1,249,000	

※端数処理のため合計値は一致しません

使い道（ぐんま緑の県民基金事業）内訳

		金額:千円								
区分	事業内容	平成26年度繰越			平成27年度				担当課	
		実績値	繰越額	実績額	計画値	実績値	計画額	実績額		
水源地域等の森林整備				220,781			644,908	239,858		
条件不利地 森林整備	地理的、地形的な条件により 林業経営が成り立たず放置さ れている条件不利な森林の間 伐等を実施	区域調査委託	274ha	159,372	1,874ha	926ha	496,912	156,701	林政課	
		実施調査委託	167ha		1,039ha	247ha				
		森林整備	276ha		700ha	129ha				
水源林機能 増進	簡易水道等の上流部の森林で 水源涵養機能等の低下が懸念 される森林を整備し、水源涵養 機能を増進	区域調査委託	—	220,790	45,803	397ha	561ha	109,519		
		実施調査委託	42ha		300ha	184ha				
		森林整備	88ha		165ha	50ha				
松くい虫被 害地の再生	松くい虫被害木が放置され、笹 竹が繁茂した森林をコナラやス ギなどの森林に再生	区域調査委託	—	15,606	45ha	105ha	37,597	22,794		
		実施調査委託	4ha		45ha	13ha				
		森林整備	11ha		20ha	9ha				
事務費	旅費、備品、消耗品費	—	—	—	—	—	880	309		
ボランティア活動・森林環境教育の推進							19,144	14,966		
森林ボラン ティア活動 の推進	森林ボランティア支援センター を運営し、ボランティア情報の 収集・発信、安全指導や森林 整備作業器具の貸出、ボラン ティア体験会などを実施	安全講習会	—	—	10回	8回	12,890	8,819	緑化 推進 課	
		ボランティア体験会	—		3回	3回				
		資機材の貸出し	—		—	71回				
森林環境教 育の推進	森林環境教育を推進するた め、専門知識を有した指導者 を育成	指導者養成講座	—	—	13回	13回	6,254	6,147		
		フォローアップ研修	—		25名	36名				
市町村提案 型事業	地域の実状に合わせ市町村や ボランティア団体等が取り組む 事業を支援	—	89,675	71,237	—	—	270,000	165,524		林政課
制度運営							3,638	2,499		
普及啓発	ぐんま緑の県民税への理解を 深めるため、税のしくみ、森林 の役割や大切さの普及啓発活 動を実施	普及資材(リーフレット) の作成	—	—	1万部	1万部	1,526	998		林政課
		事業地等をバスで巡る 現地説明会	—		3回 (バス5台)	3回 (バス5台)				
評価検証	事業の内容検討・実績評価・効 果検証などを行う第三者機関 を運営	ぐんま緑の県民税 評価検証委員会開催	—	—	3回	3回	995	383		林政課
	事業の客観的な効果検証を行 うために必要な調査・分析	間伐前と間伐後の森林 の状況を調査し、事業 の効果を検証	—		—	20カ所	20カ所	1,117	1,117	林業 試験 場
計			310,465	292,018			937,690	422,847		
平成26年度繰越事業実績額 + 平成27年度実績額 = 平成27年度支出額		714,865 千円								

※端数処理のため合計値は一致しません

【平成28年度】

財源（ぐんま緑の県民基金）内訳

金額：千円

区分		計画	実績
財源	平成28年度税込(税込相当額)	830,327	830,327
	寄附金	1,000	450
	運用益	207	195
	諸収入	0	175
	前年度基金残	535,523	535,523
合計		1,367,057	1,366,670

※端数処理のため合計値は一致しません

使い道（ぐんま緑の県民基金事業）内訳

金額：千円

区分	事業内容	平成27年度繰越			平成28年度				担当課	
		実績値	繰越額	実績額	計画値	実績値	計画額	実績額		
水源地域等の森林整備				404,293			601,125	305,425		
条件不利地 森林整備	地理的、地形的な条件により 林業経営が成り立たず放置さ れている条件不利な森林の間 伐等を実施	区域調査委託	181ha	238,424	1,550ha	669ha	460,011	177,326	林政課	
		実施調査委託	398ha		800ha	225ha				
		森林整備	337ha		650ha	168ha				
水源林機能 増進	簡易水道等の上流部の森林で 水源涵養機能等の低下が懸念 される森林を整備し、水源涵養 機能を増進	区域調査委託	390ha	404,481	138,012	385ha	429ha	85,434		78,553
		実施調査委託	350ha		212ha	94ha				
		森林整備	184ha		100ha	87ha				
松くい虫被 害地の再生	松くい虫被害木が放置され、笹 竹が繁茂した森林をコナラやス ギなどの森林に再生	区域調査委託	—	27,857	80ha	148ha	54,800	49,540		
		実施調査委託	—		40ha	42ha				
		森林整備	22ha		40ha	29ha				
事務費	旅費、備品、消耗品費	—	—	—	—	—	880	6		
ボランティア活動・森林環境教育の推進							14,016	12,937		
森林ボラン ティア活動 の推進	森林ボランティア支援センター を運営し、ボランティア情報の 収集・発信、安全指導や森林 整備作業器具の貸出、ボラン ティア体験会などを実施	安全講習会	—	—	10回	11回	7,730	6,796	緑化 推進 課	
		ボランティア体験会	—	—	3回	5回				
		資機材の貸出し	—	—	—	77回				
森林環境教 育の推進	森林環境教育を推進するた め、専門知識を有した指導者を 育成	指導者養成講座	—	—	12回	12回	6,286	6,141		
		フォローアップ研修	—	—	3回	3回				
市町村提案 型事業	地域の実状に合わせ市町村や ボランティア団体等が取り組む 事業を支援	—	62,305	34,211	—	—	280,000	198,661		林政課
制度運営							3,741	2,948		
普及啓発	ぐんま緑の県民税への理解を 深めるため、税のしくみ、森林 の役割や大切さの普及啓発活 動を実施	普及資材(パンフレット) の作成	—	—	1万部	7千部	1,716	1,227		林政課
		事業地等をバスで巡る 現地説明会	—	—	3回 (バス5台)	3回 (バス5台)				
評価検証	事業の内容検討・実績評価・効 果検証などを行う第三者機関 を運営	ぐんま緑の県民税 評価検証委員会開催	—	—	3回	2回	925	621		林政課
	事業の客観的な効果検証を行 うために必要な調査・分析	間伐前と間伐後の森林 の状況を調査し、事業 の効果を検証	—	—	20カ所	20カ所	1,100	1,100	林業 試験 場	
計			466,786	438,504			898,882	519,972		

平成27年度繰越事業実績額 + 平成28年度実績額 = 平成28年度支出額

958,475 千円

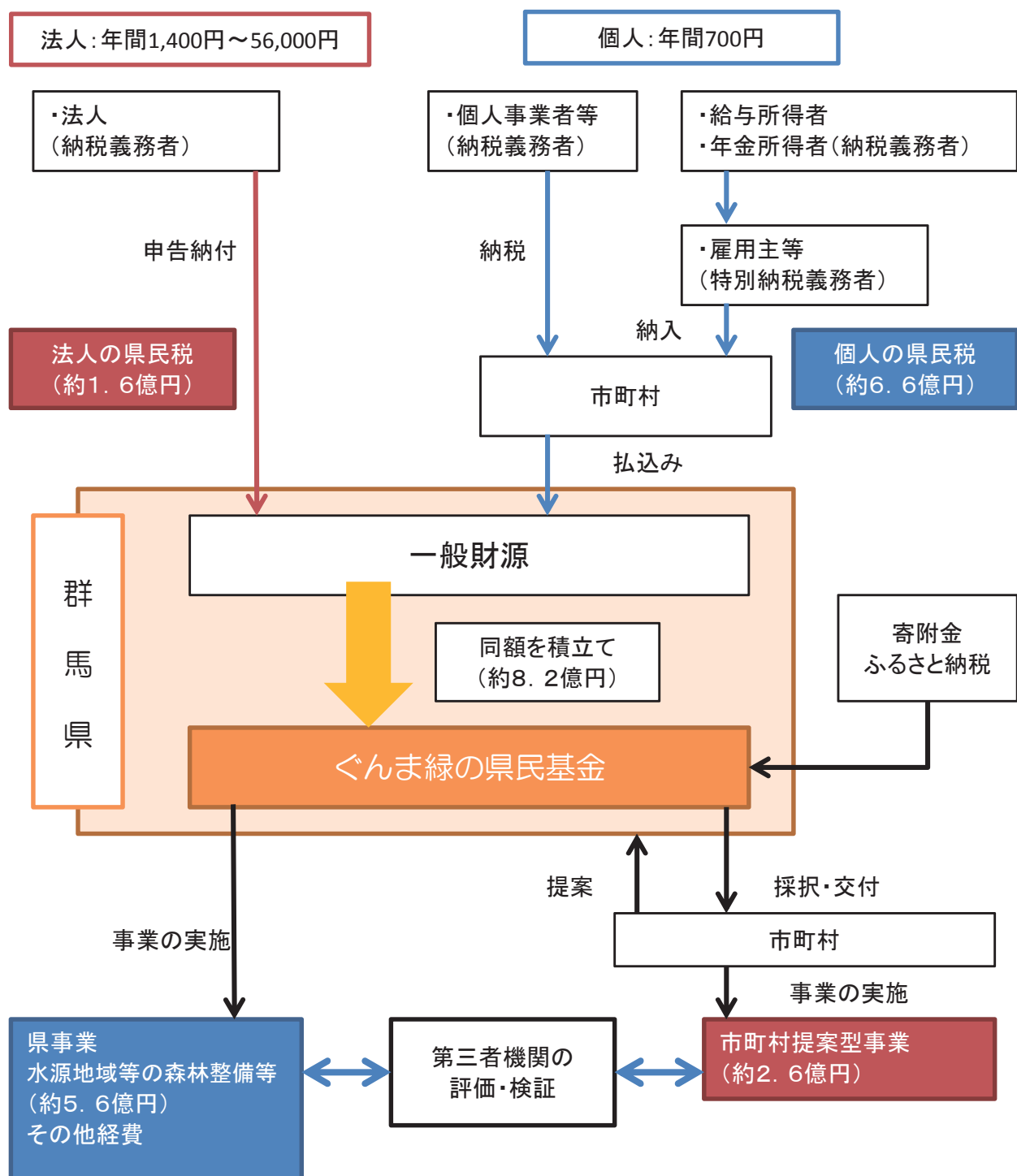
※端数処理のため合計値は一致しません

ぐんま緑の県民基金

○県民税はその使い道を特定されない普通税であるため、そのままではぐんま緑の県民税に相当する税収は、既存の県民税と区別できません。

そのため、「ぐんま緑の県民基金」を新たに設置し、ぐんま緑の県民税の税収に相当する額を積み立てます。その上で、毎年度必要となる額を基金から取り崩して森林環境を保全するための事業に充てることで、使い道の明確化を図ります。

ぐんま緑の県民基金の流れ（※金額は平年ベース）



平成26～28年度ぐんま緑の県民税収入実績（県の税収等）

（単位：円）

項目 \ 年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合計
税収相当額	621,444,956	819,832,887	830,326,664	2,271,604,507
寄附金等	298,502	1,844,480	450,194	2,593,176
運用益	11,542	273,633	195,142	480,317
諸収入			175,000	175,000
合計	621,755,000	821,951,000	831,147,000	2,274,853,000

ぐんま緑の県民基金運用実績（県から基金への積立）

（単位：円）

年度 \ 項目	寄附金 A	税収 B	運用益 C	諸収入 D	取り崩し D	基金残高 E=A+B+C-D
平成26年度	298,502	621,444,956	11,542		194,706,267	427,048,733
平成27年度	1,844,480	819,832,887	273,633		713,476,923	535,522,810
平成28年度	450,194	830,326,664	195,142	175,000	959,863,169	406,806,641
合計	2,593,176	2,271,604,507	480,317	175,000	1,868,046,359	406,806,641

（H29. 5. 31時点）基金残高

寄附金の一覧

No.	件数	氏名	住所等	寄付額	備考
平成26年度	20	ふるさと納税等	埼玉県、県内等	298,502 円	
平成27年度	32	ふるさと納税等	東京都、埼玉県、 県内等	1,844,480 円	
平成28年度	17	ふるさと納税等	東京都、埼玉県、 県内等	450,194 円	
合計	69件			2,593,176 円	

● 水源地域等の森林整備関係

水源地域等の森林整備の事業内容（整備要件及び整備内容）

○水源地域等の森林整備事業の整備要件及び整備内容は次のとおりです。
※ぐんま緑の県民基金水源地域等の森林整備事業実施要綱別表より抜粋

事業区分	森林整備の要件	森林整備の内容
条件不利地 森林整備事業	<p>林業経営が成り立たない森林であって、次のすべての要件を満たす森林であること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人工林であること。 2 林道及び市町村道等からの距離が概ね200メートル以上の森林であること。 3 森林経営計画認定森林でないこと。また、森林経営計画の作成が見込まれていない森林であること。 4 過去15年以上森林整備が行われていない森林であること。 5 市町村森林整備計画で定める公益的機能別施業森林であること。 6 県と森林所有者等により事業実施後10年間の皆伐及び転用の禁止、並びに公益的機能別施業森林の伐期までの伐採制限を定めた協定を締結することができる森林であること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 原則として、本数率で35%以上の除伐、間伐 2 不成績造林地にあつては、広葉樹の生育があり、広葉樹の成林が見込まれる場合には、針広混交林へ誘導するための森林施業 3 伐採木の玉切り、集積 4 森林整備を実施する箇所までの幅員2m程度の簡易な作業路の開設
水源林機能 増進事業	<p>市町村が管理する簡易水道等の水源の森林であつて、次のすべての要件を満たす森林であること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小流域に取水口がありそれに依存する簡易水道等の集水区域の森林であること。 2 過密林であつて下層植生がないなどの森林整備が必要な森林であること。 3 森林経営計画認定森林でないこと。また、森林経営計画の作成が見込まれていない森林であること。 4 市町村森林整備計画で定める公益的機能別施業森林であること。 5 県と森林所有者等により事業実施後10年間の皆伐及び転用の禁止、並びに公益的機能別施業森林の伐期までの伐採制限を定めた協定を締結することができる森林であること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 原則として、本数率で35%以上の除伐、間伐 2 不成績造林地であつて、広葉樹の生育があり、広葉樹の成林が見込まれる場合には、針広混交林へ誘導するための森林施業 3 伐採木の玉切り、集積 4 森林整備を実施する箇所までの幅員2m程度の簡易な作業路の開設
松くい虫被害地 の再生事業	<p>松くい虫被害地であつて公益的機能が低下し、森林の再生が必要な森林で、次のすべての要件を満たす森林であること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 松くい虫被害地の森林であること。 2 松くい虫被害木の割合が50%以上であること。 3 事業実施後保安林指定できる森林であること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 被害木等の伐倒、玉切り、集積 2 地拵え、植栽 3 下刈、獣害防止施設等の設置 4 広葉樹の生育があり、広葉樹の成林が見込まれる場合には、広葉樹林へ誘導するための森林施業 5 森林整備を実施する箇所までの幅員2m程度の簡易な作業路の開設

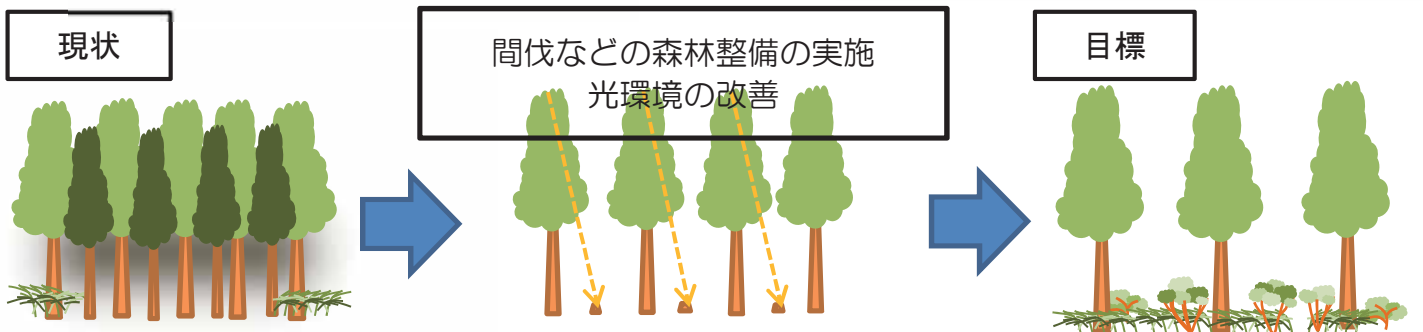
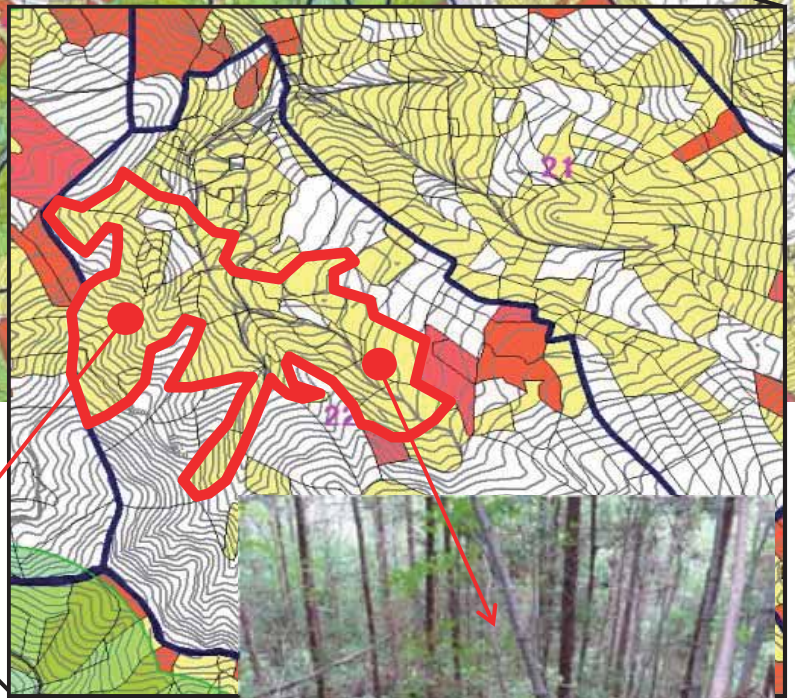
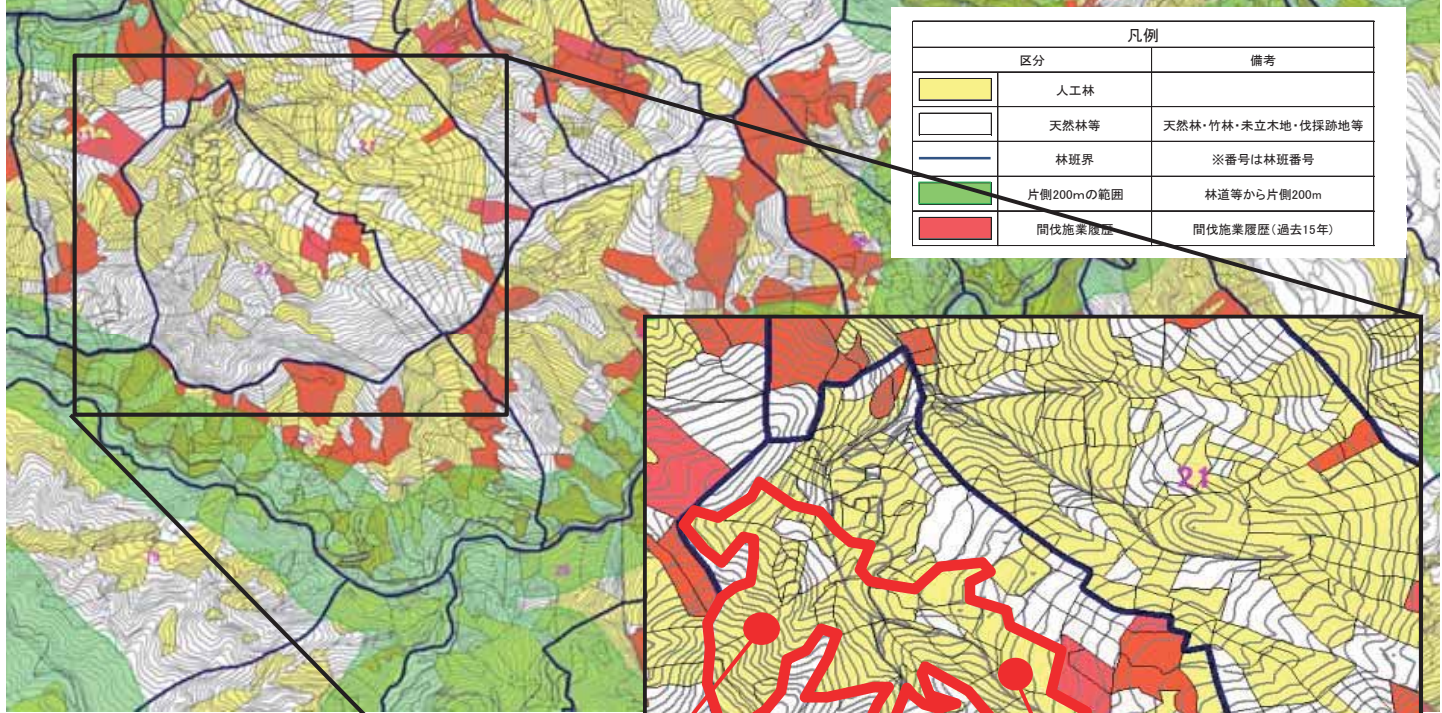
5年間の整備計画

○水源地域等の森林整備事業の5カ年（H26～H30）の整備計画は次のとおりです。

事業名	整備計画
条件不利地 森林整備事業	3, 500ha
水源林機能 増進事業	500ha
松くい虫被害地 の再生事業	200ha

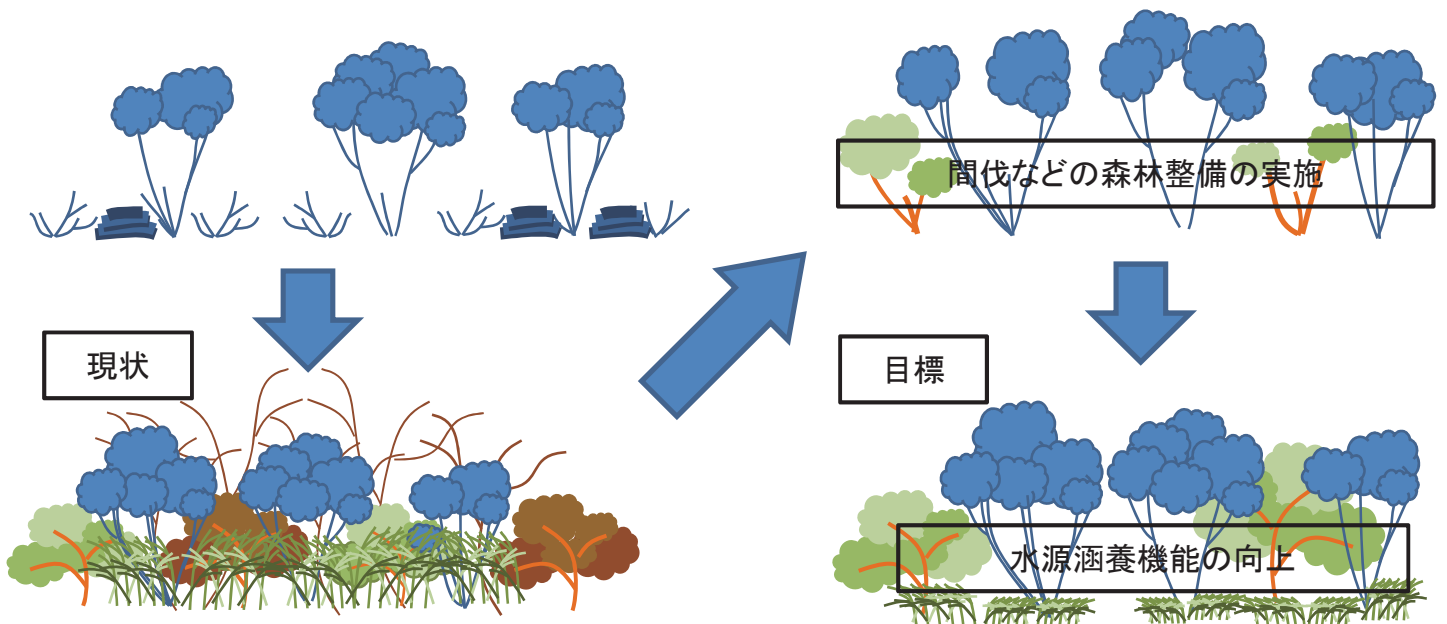
林業経営が成り立たない森林であって、次のすべての要件を満たす森林であること。

- 1 人工林であること。
- 2 林道及び市町村道等からの距離が概ね200メートル以上の森林 であること。
- 3 森林経営計画認定森林でないこと。また、森林経営計画の作成が見込まれていない森林であること。
- 4 過去15年以上森林整備が行われていない森林であること。
- 5 市町村森林整備計画で定める公益的機能別施業森林であること。
- 6 県と森林所有者等により事業実施後10年間の皆伐及び転用の禁止、並びに公益的機能別施業森林の伐期までの伐採制限を定めた協定を締結することができる森林であること。



市町村が管理する簡易水道等の水源の森林であって、次のすべての要件を満たす森林であること。

- 1 小流域に取水口がありそれに依存する簡易水道等の集水区域の森林であること。
- 2 過密林であって下層植生がないなどの森林整備が必要な森林であること。
- 3 森林経営計画認定森林でないこと。また、森林経営計画の作成が見込まれていない森林であること。
- 4 市町村森林整備計画で定める公益的機能別施業森林であること。
- 5 県と森林所有者等により事業実施後10年間の皆伐及び転用の禁止、並びに公益的機能別施業森林の伐期までの伐採制限を定めた協定を締結することができる森林であること。



松くい虫被害地であって公益的機能が低下し、森林の再生が必要な森林で、次のすべての要件を満たす森林であること。

- 1 松くい虫被害地の森林であること。
- 2 松くい虫被害木の割合が50%以上であること。
- 3 事業実施後保安林指定できる森林であること。

松くい虫被害地であって、被害木の割合が50%以上

松くい虫被害地の再生

現状

松くい虫被害によりマツ林が荒廃

新たに、広葉樹などを植栽し、森林を再生し、公益的機能の高い森林へ転換を図る

水源地域等の森林整備の実施状況について

○平成28年度までの水源地域等の森林整備の実施状況は次のとおりです。

事業区分	全体 (5カ年) 計画(ha)	合計			平成27年度						平成28年度						
		平成26年度		事業費 (円)	平成26年度繰越事業		平成27年度事業		事業費 (円)	平成27年度繰越事業		平成28年度事業		事業費 (円)	平成28年度繰越事業		
		実績 (ha)	事業費 (円)		実績 (ha)	事業費 (円)	実績 (ha)	事業費 (円)		実績 (ha)	事業費 (円)	実績 (ha)	事業費 (円)		実績 (ha)	事業費 (円)	
条件不利地 森林整備	—	2,991	71,076,200	940.09	20,163,600	274.48	5,367,600	926.17	22,368,200	1,200.65	27,735,800	181.30	5,011,200	668.73	18,165,600	850.03	23,176,800
	—	1,290	175,736,400	253.56	33,646,000	167.00	19,587,200	247.23	37,294,400	414.23	56,881,600	397.76	48,058,000	224.63	37,150,800	622.39	85,208,800
	3,500	910	538,687,200	—	—	134,416,800	128.68	97,038,600	404.47	97,038,600	404.47	231,455,400	337.31	185,230,200	168.08	122,001,600	505.39
補償費	—	—	132,760	—	—	—	—	—	—	—	—	—	124,610	—	8,150	—	132,760
水源林 機能増進	—	1,781	33,901,200	400.92	7,236,000	—	—	561.46	11,534,400	561.46	11,534,400	389.94	7,095,600	428.94	8,035,200	818.88	15,130,800
	—	750	91,929,600	80.09	10,551,600	41.83	5,011,200	184.06	22,202,800	225.89	27,214,000	349.91	40,286,000	93.76	13,878,000	443.67	54,164,000
	500	408	214,379,200	—	—	87.98	40,791,600	49.82	26,317,280	137.80	67,108,880	183.60	90,830,120	86.69	56,640,200	270.29	147,270,320
松くい虫 被害地の再生	—	414	7,893,400	161.55	2,624,400	—	—	104.56	2,752,600	104.56	2,752,600	—	—	148.09	2,516,400	148.09	2,516,400
	—	90	12,430,800	32.21	3,531,600	3.61	1,112,400	12.82	1,630,800	16.43	2,743,200	—	—	41.50	6,156,000	41.50	6,156,000
	200	71	101,617,200	—	—	10.98	14,482,800	9.09	18,410,400	20.07	32,893,200	21.56	27,856,800	29.35	40,867,200	50.91	68,724,000
補償費	—	—	10,990	—	—	—	10,990	—	—	—	10,990	—	—	—	—	—	—
合計	—	5,186	112,870,800	1,503	30,024,000	274	5,367,600	1,592	36,655,200	1,867	42,022,800	571	12,106,800	1,246	28,717,200	1,817	40,824,000
	—	2,130	280,096,800	366	47,729,200	212	25,710,800	444	61,128,000	657	86,838,800	748	88,344,000	360	57,184,800	1,108	145,528,800
	4,200	1,389	854,683,600	—	—	375	189,691,200	188	141,766,280	562	331,457,480	542	303,717,120	284	219,509,000	827	523,226,120
	—	—	143,750	—	—	—	10,990	—	—	—	10,990	—	124,610	—	8,150	—	132,760
	—	—	642,670	—	327,888	—	—	—	309,002	—	309,002	—	—	—	5,780	—	5,780
—	—	1,248,437,620	—	78,081,088	—	220,780,590	—	239,858,482	—	460,639,072	—	404,292,530	—	305,424,930	—	709,717,460	

※端数処理のため合計値は一致しません

● 森林ボランティア活動・森林環境教育の推進関係

【平成26年度の実績】 4,611千円

【平成27年度の実績】 14,966千円

【平成28年度の実績】 12,937千円

【平成26～28年度の実績】 32,514千円

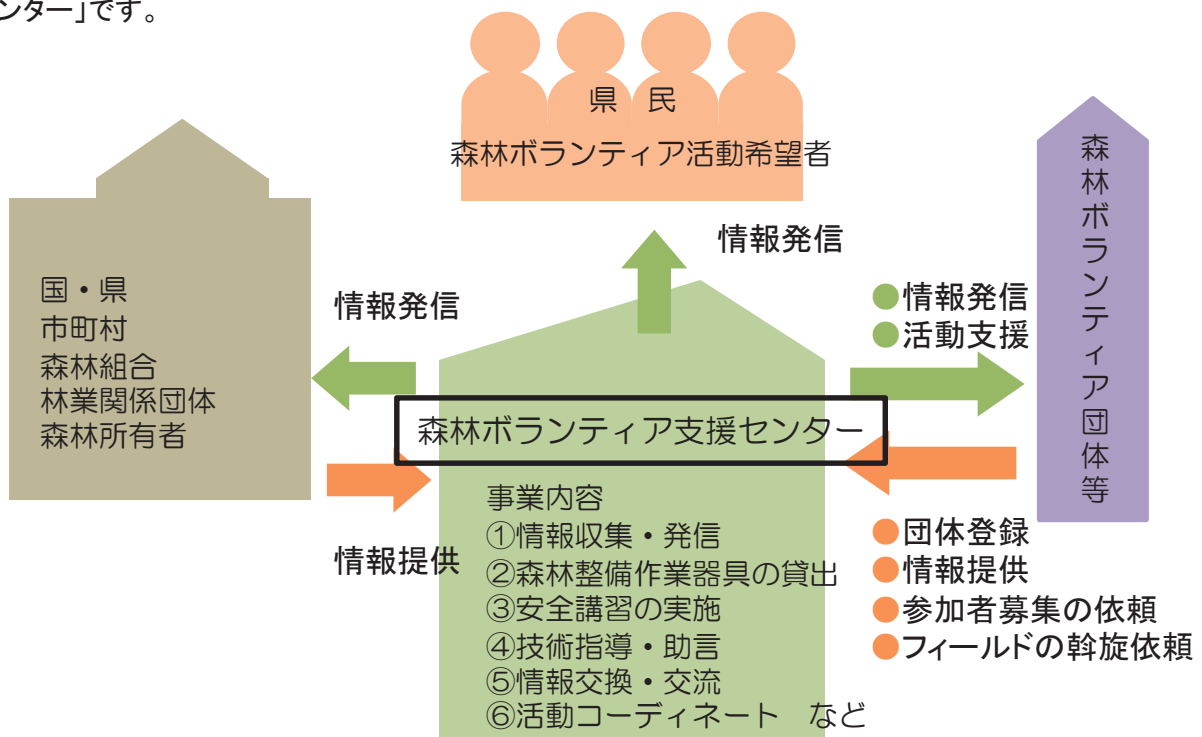
○ 森林ボランティア活動の推進

森林ボランティア支援センター

○森林は、木材を生産し災害を防ぎ清らかな水を貯えるなど多くの働きを持っていますが、林業収益性の悪化、林業従事者の不足・高齢化等により森林整備が十分に行き届きません。

○今、自ら積極的に森林整備等の活動をボランティアとして行う個人・団体・企業が増えており、その活動は、私たちの暮らしのためにも、また、地球温暖化防止のためにも、非常に重要です。

○この森林ボランティアの活動を推進していくために、ボランティア情報の収集と発信、指導や森林整備作業器具の貸出など、一体的なサポートを行う拠点が、「群馬県森林ボランティア支援センター」です。



○渋川市伊香保町伊香保637(群馬県憩の森 森林学習センター内)

Tel 0279-72-3220 Fax 0279-72-3045 ryokukaka@pref.gunma.lg.jp

○森林ボランティア支援センターホームページ「モリノワ」を開設し、森林ボランティア活動に必要な様々な情報を掲載しています。



情報誌「モリノワ」

項目		年度			合計
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
森林整備作業用の機械・器具の貸し出し	貸出回数	47回	71回	77回	195回
安全講習会の開催	開催回数	11回	8回	11回	30回
	参加人数	226名	97名	394名	717名
森林ボランティア体験会の開催	開催回数	—	3回	5回	8回

○ 森林環境教育の推進

項目		年度			合計
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
緑のインタープリター養成講座の開催 新規講座	開催回数	—	13回	12回	25回
	養成者数	—	26名	22名	48名
緑のインタープリター養成講座の開催 経験者講座	開催回数	4回	4回	4回	12回
	養成者数	29名	10名	4名	43名
緑のインタープリター登録者数	登録者数	38名	62名	94名	—
フォローアップ研修の開催	開催回数	—	3回	3回	6回

● 市町村提案型事業関係

市町村提案型事業 実施報告

市町村提案型事業 平成26～28年度 実施事業一覧表

・・・ 14

● 荒廃した里山・平地林の整備

【困難地整備支援】

- ・ 実施報告 ・・・ 15
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 18

【整備】

- ・ 実施報告 ・・・ 19
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 22

【管理】

- ・ 実施報告 ・・・ 23
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 26

【苗木の購入】

- ・ 実施報告 ・・・ 27
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 30

【刈払機・粉砕機の購入】

- ・ 実績報告 ・・・ 31
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 34

● 貴重な自然環境の保護・保全

- ・ 実施報告 ・・・ 35
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 38

● 森林環境教育・普及啓発

- ・ 実施報告 ・・・ 39
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 42

● 森林の公有林化

- ・ 実施報告 ・・・ 43
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 46

● 独自提案事業

- ・ 実施報告 ・・・ 47
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 50

市町村提案型事業 平成26～28年度 実施事業一覽表

区分	実施年				事業量
	市町村数	事業数	事業費	補助金額	
里山	H26	20	66,465,694	49,896,503	森林:19.16ha 竹林:7.75ha 管理:5.10ha
	H26繰	6	84,159,200	71,237,000	森林:13.43ha 竹林:25.25ha
	H27	24	190,270,564	130,133,000	森林:54.15ha 竹林:16.08ha 管理:39.47ha
	H27繰	5	45,630,512	34,211,000	森林:4.67ha 竹林:5.32ha
	H28	29	185,635,726	168,313,000	森林:48.78ha 竹林:24.70ha 管理:107.29ha
計	29	572,161,696	453,790,503	森林:140.20ha 竹林:79.10ha 管理:151.86ha	
自然	H26	6	3,119,529	2,021,860	動物:2種 植物:7種
	H26繰	0	0	0	
	H27	10	9,446,537	5,588,000	動物:12種 植物:25種
	H27繰	0	0	0	
	H28	12	12,243,657	7,606,000	動物:14種 植物:26種
計	12	24,809,723	15,215,860	動物:14種 植物:28種	
教育	H26	11	5,621,950	4,122,811	参加者数:2,151人
	H26繰	0	0	0	
	H27	14	16,667,506	11,194,000	参加者数:5,825人
	H27繰	0	0	0	
	H28	20	24,242,047	18,259,000	参加者数:9,484人
計	22	46,531,503	33,575,811	参加者数:17,460人	
公有	H26	3	28,642,000	14,321,000	水源林:11.04ha 平地林:0.34ha
	H26繰	0	0	0	
	H27	1	20,235,300	10,000,000	水源林:0ha 平地林:0.28ha
	H27繰	0	0	0	
	H28	—	2,645,000	2,645,000	繰越継続中
計	3	51,522,300	26,966,000	水源林:11.04ha 平地林:0.62ha	
独自	H26	3	13,402,036	4,344,200	森林:5.38ha 竹林:3.12ha
	H26繰	0	0	0	
	H27	4	22,375,966	8,609,000	森林:2.20ha 竹林:4.54ha
	H27繰	0	0	0	
	H28	2	6,379,917	1,838,000	森林:1.01ha 竹林:1.76ha
計	4	42,157,919	14,791,200	森林:8.59ha 竹林:9.42ha	
合計	—	737,183,141	544,339,374		

区分	年度				事業量
	市町村数	事業数	事業費	補助金額	
里山	H26	20	66,465,694	49,896,503	森林:19.16ha 竹林:7.75ha 管理:5.10ha
	H27	25	274,429,764	201,370,000	森林:67.58ha 竹林:41.33ha 管理:39.47ha
	H28	29	231,266,238	202,524,000	森林:53.45ha 竹林:30.02ha 管理:107.29ha
	計	29	572,161,696	453,790,503	森林:140.19ha 竹林:79.10ha 管理:151.86ha
	H26	6	3,119,529	2,021,860	動物:2種 植物:7種
自然	H27	10	9,446,537	5,588,000	動物:12種 植物:25種
	H28	12	12,243,657	7,606,000	動物:14種 植物:26種
	計	12	24,809,723	15,215,860	動物:14種 植物:28種
	H26	11	5,621,950	4,122,811	参加者数:2,151人
	H27	14	16,667,506	11,194,000	参加者数:5,825人
教育	H28	20	24,242,047	18,259,000	参加者数:9,484人
	計	22	46,531,503	33,575,811	参加者数:17,460人
	H26	3	28,642,000	14,321,000	水源林:11.03ha 平地林:0.34ha
	H27	1	20,235,300	10,000,000	水源林:0ha 平地林:0.28ha
	H28	—	2,645,000	2,645,000	繰越継続中
公有	計	3	51,522,300	26,966,000	水源林:11.04ha 平地林:0.62ha
	H26	3	13,402,036	4,344,200	森林:5.38ha 竹林:3.12ha
	H27	4	22,375,966	8,609,000	森林:2.20ha 竹林:4.54ha
	H28	2	6,379,917	1,838,000	森林:1.01ha 竹林:1.76ha
	計	4	42,157,919	14,791,200	森林:8.59ha 竹林:9.42ha
合計	—	737,183,141	544,339,374		

H26	28	76	117,251,209	74,706,374
H26繰	6	17	84,159,200	71,237,000
H27	29	160	258,995,873	165,524,000
H27繰	5	12	45,630,512	34,211,000
H28	35	222	231,146,347	198,661,000
計	—	487	737,183,141	544,339,374

荒廃した里山・平地林の整備（困難地整備）実施報告

平成26年度

【◆事業概要◆】

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	困難地整備支援
補助率	森林は1ha当たり上限500千円(ただし、全伐する場合、1ha当たり上限1,500千円とする) 竹林は1ha当たり上限2,700千円 特殊伐採は補助率1/2以内(ただし、「ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業審査会設置運営要領」に規定する「ぐんま緑の県民基金市町村提案型審査会」において承認を得た額とし、上限2,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	地域住民等では整備が困難である荒廃した里山・平地林(竹林を含む)について、市町村が整備を実施。次年度以降は、地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき継続的に維持管理を実施する。

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	16	8	13
採択箇所数	31	10	21
事業費(円)	134,566,149	41,316,149	93,250,000
県民基金(円)	113,978,000	34,496,000	79,482,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	2	—	2
廃止等の箇所数	2	—	2
事業費(円)	1,000,000	—	1,000,000
県民基金(円)	800,000	—	800,000
廃止等の主な理由	土地所有者との合意形成が不調となったため		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	12	6	7
実施箇所数	16	8	8
《決算額》			
事業費(円)※	28,412,100	19,437,840	8,974,260
県民基金(円)	20,628,000	14,398,000	6,230,000

※繰越事業の概算払額を含む

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	5	2	5
繰越箇所数	13	2	11
《繰越額》			
事業費(円)	85,627,800	18,360,000	67,267,800
県民基金(円)	85,627,800	18,360,000	67,267,800

【平成26年度の実績】

20,628千円

- ・ 整備面積 森林 11.64ha、竹林 5.74ha (12市町村 16箇所)
- ・ 参考(繰越面積 森林25.87ha、竹林24.57ha※繰越承認時点)

【成果】

- ・ 市町村が森林(竹林)整備することにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の保全がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られた。
- ・ 困難地を市町村が優先的に整備を実施することで、地域住民の身近な里山(竹林)環境に対する関心が高まった。

【課題・方向性】

- ・ 地域が荒廃した里山・平地林を維持管理していくためには、地域住民の維持管理の負担感を軽減し、継続的な管理意欲を高めることが重要であることから、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローする必要がある。
- ・ 今年度については、繰越が多くなったため、市町村による早期の事業着手ができるよう配慮する必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 竹林の整備によりイノシシの潜伏場所が解消され、イノシシの出没や農作物の被害が減った。
- ・ 子供達の通学路周辺の竹林や藪が整備され、安心して通学できる環境が整った。
- ・ 公共事業の対象にならないような地域に点在する規模の小さい荒廃地を、地域力で再生するためには有効な制度である。
- ・ 荒廃した竹林の土地所有者がわからず、地域の協力を得るのが困難であった。
- ・ 過疎高齢化が進む地域では、町が整備した後の管理体制づくりが非常に困難であった。

平成27年度

【◆事業概要◆】

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	困難地整備支援
補助率	森林は1ha当たり上限500千円(ただし、全伐する場合、1ha当たり上限1,500千円とする) 竹林は1ha当たり上限2,700千円(ただし、全伐する場合、1ha当たり上限5,900千円とする) 特殊伐採は補助率1/2以内(ただし、「ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業審査会設置運営要領」に規定する「ぐんま緑の県民基金市町村提案型審査会」において承認を得た額とし、上限2,000千円とする)
基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	地域住民等では整備が困難である荒廃した里山・平地林(竹林を含む)について、市町村が整備を実施。次年度以降は、地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき継続的に維持管理を実施する。

【平成26年度繰越の実績】

67,400千円

- ・ 整備面積 森林 10.60ha、竹林20.90ha (5市町村 13箇所)

【平成27年度の実績】

110,668千円

- ・ 整備面積 森林 48.34ha、竹林13.68ha (14市町村 37箇所)

【H27事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	14	15	16
採択箇所数	63	21	42
事業費(円)	279,794,904	88,754,000	191,040,904
県民基金(円)	187,006,000	70,534,000	116,472,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	7	4	4
廃止等の箇所数	15	4	11
事業費(円)	35,562,607	4,825,000	30,737,607
県民基金(円)	22,956,000	4,325,000	18,631,000
廃止等の主な理由	土地所有者との合意形成が不調となったため		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	14	8	12
実施箇所数	37	13	24
《決算額》			
事業費(円)	163,245,478	64,229,900	99,015,578
県民基金(円)	110,668,000	52,379,000	58,289,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	5	4	3
繰越箇所数	11	4	7
《繰越額》			
事業費(円)	66,547,240	29,589,000	36,958,240
県民基金(円)	61,404,000	29,589,000	31,815,000

【成果】

- ・ 市町村が森林(竹林)整備することにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の保全がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られた。
- ・ 竹林の全伐補助額を、1ha当たり上限5,900千円としたことで、放置竹林の整備が促進された。

【課題・方向性】

- ・ 地域が荒廃した里山・平地林を維持管理していくためには、地域住民の維持管理の負担感を軽減し、継続的な管理意欲を高めることが重要であることから、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローする必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 地域住民が協力して整備を続けていくことで、住民同士の連携強化が期待される。
- ・ 野生鳥獣潜伏場所が解消され、農作物の被害が減少した。
- ・ 伐採した樹木等を産業廃棄物として処理する場合の補助をしていただきたい。

平成28年度

【◆事業概要◆】

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	困難地整備支援
補助率	森林は1ha当たり上限500千円(ただし、全伐する場合、1ha当たり上限1,500千円とする) 竹林は1ha当たり上限2,700千円(ただし、全伐する場合、1ha当たり上限5,900千円とする) 特殊伐採は補助率1/2以内(ただし、「ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業審査会設置運営要領」に規定する「ぐんま緑の県民基金市町村提案型審査会」において承認を得た額とし、上限2,000千円とする)
基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	地域住民等では整備が困難である荒廃した里山・平地林(竹林を含む)について、市町村が整備を実施。次年度以降は、地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき継続的に維持管理を実施する。

【平成27年度繰越の実績】

33,631千円

- ・ 整備面積 森林 3.67ha、竹林5.32ha(4市町村 9箇所)

【平成28年度の実績】

151,627千円

- ・ 整備面積 森林 45.75ha、竹林21.60ha(17市町村 41箇所)

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	21
採択箇所数	56
事業費(円)	238,865,513
県民基金(円)	220,455,000

【事業の廃止】

区分	合計
市町村数	3
廃止等の箇所数	6
事業費(円)	12,150,000
県民基金(円)	12,150,000
廃止等の主な理由	土地所有者との合意形成が不調となったため

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	18
実施箇所数	41
《決算額》	
事業費(円)	164,664,040
県民基金(円)※	151,627,000

※繰越事業の概算払額を含む。

【繰越状況】

区分	合計
市町村数	6
繰越箇所数	9
《繰越額》	
事業費(円)	66,233,924
県民基金(円)	30,825,000

【成果】

- ・ 市町村が森林(竹林)整備することにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の保全がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られた。

【課題・方向性】

- ・ 地域が荒廃した里山・平地林を維持管理していくためには、地域住民の維持管理の負担感を軽減し、継続的な管理意欲を高めることが重要であることから、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローする必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 野生鳥獣潜伏場所が解消され、農作物の被害が減少した。
- ・ 地域住民が協力して整備を続けていくことで、住民同士の連携強化が期待される。
- ・ 地域住民の高齢化による作業人員確保の困難化が危惧される。

事業年度	平成27年度			
事業名	里山再生事業			
事業実施主体	富岡市	市町村名	富岡市	
事業成果	竹林の全伐を0.5ha実施。景観が改善されるとともに、野生鳥獣の潜伏場所が解消され、農作物等の被害が減少した。			
整備面積	0.50ha	事業費(補助金)	2,916,000円	(2,916,000円)

着工前



着工前



平成27年度事業完了



平成27年度事業完了



平成29年度事業着工前



平成29年度事業着工前



荒廃した里山・平地林の整備（整備）実施報告

平成26年度

◆事業概要◆

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	整備
補助率	森林は1ha当たり上限280千円 竹林は1ha当たり上限700千円

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	荒廃した里山・平地林(竹林を含む)について、地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき整備を実施。次年度以降についても継続的に管理を実施する。

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	9	6	3
採択箇所数	17	8	9
事業費(円)	9,089,000	4,743,600	4,345,400
県民基金(円)	9,089,000	4,743,600	4,345,400

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	2	2	—
廃止等の箇所数	2	2	—
廃止等の事業費	1,056,000	1,056,000	—
うち県民基金	1,056,000	1,056,000	—
廃止等の主な理由	土地所有者との合意形成が不調となったため		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	7	5	2
実施箇所数	11	5	6
《決算額》			
事業費(円)	3,825,184	2,743,493	1,081,691
県民基金(円)	3,447,450	2,422,750	1,024,700

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	2	1	2
繰越箇所数	4	1	3
《繰越額》			
事業費	4,047,000	792,000	3,255,000
うち県民基金	4,047,000	792,000	3,255,000

【平成26年度の実績】

3,447千円

- ・ 整備面積 森林 7.52ha、竹林 2.01ha（7市町村 11箇所）
- ・ 参考(繰越面積 森林 2.83ha、竹林 4.65ha※繰越承認時点)

【成果】

- ・ 地域住民が主体的に森林(竹林)整備することにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の保全がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られた。
- ・ 地域住民が自らの地域を整備を実施することで、地域住民の身近な里山(竹林)環境に対する関心が高まった。

【課題・方向性】

- ・ 地域が荒廃した里山・平地林を継続的に維持管理していくためには、地域住民の維持管理の負担感を軽減し、継続的な管理意欲を高めることが重要であることから、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローする必要がある。
- ・ ぐんま緑の県民税事業の事業活用メリットを積極的にPRし、地域の合意形成や協力体制を円滑に図る必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 地域の課題であった道路沿線の竹林が解消され、日常生活における安心・安全が確保された。
- ・ 地域の山林がきれいになり、野生動物が出没しなくなった。
- ・ 地域のボランティアのパワーを活用し、荒廃した里山整備を行政と協働して行うためには必要な取組である。
- ・ 林家の後継者の大部分がサラリーマンである中、今回の事業をきっかけとして荒廃した山林の現実を直視し、少しずつではあるが整備を進めることができた。
- ・ 地域の課題であった荒廃した竹林の所有者が不明であり、所有者の特定や協定の締結などに大変労力がかかった。
- ・ 自治会等が事業を実施する場合、事務手続き上の負担が多かったため、提出書類などの手続きを簡素化してほしい。

平成27年度

◆事業概要◆

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	整備
補助率	森林は1ha当たり上限280千円 竹林は1ha当たり上限700千円

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	荒廃した里山・平地林(竹林を含む)について、地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき整備を実施。次年度以降についても継続的に管理を実施する。

【平成26年度繰越の実績】

3,837千円

- ・ 整備面積 森林 2.83ha、竹林4.35ha (2市町村 4箇所)

【平成27年度の実績】

2,875千円

- ・ 整備面積 森林 5.81ha、竹林2.40ha (5市町村 13箇所)

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	6	3	4
採択箇所数	16	5	11
事業費(円)	7,316,600	5,051,800	2,264,800
県民基金(円)	6,513,600	4,259,600	2,254,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	2	1	1
廃止等の箇所数	2	1	1
廃止等の事業費	3,026,800	2,886,800	140,000
うち県民基金	3,026,800	2,886,800	140,000
廃止等の主な理由	土地所有者との合意形成が不調となったため		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	5	3	3
実施箇所数	13	4	9
《決算額》			
事業費(円)	3,641,748	1,781,329	1,860,419
県民基金(円)	2,875,000	1,041,000	1,834,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	1	0	1
繰越箇所数	1	0	1
《繰越額》			
事業費	280,000	0	280,000
うち県民基金	280,000	0	280,000

【成果】

- ・ 地域住民が主体的に森林(竹林)整備することにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の保全がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られると共に、地域住民の連携が強化された。

【課題・方向性】

- ・ 地域が荒廃した里山・平地林を継続的に維持管理していくためには、地域住民の維持管理の負担感を軽減し、継続的な管理意欲を高めることが重要であることから、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローする必要がある。
- ・ ぐんま緑の県民税事業の事業活用メリットを積極的にPRし、地域の合意形成や協力体制を円滑に図る必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 地域の山林がきれいになり、野生鳥獣の出没が少なくなった。
- ・ 本事業の活用をきっかけに、住民の連携が強化されることを期待する。
- ・ 事務手続きに不慣れな自治会が事業を実施する場合、事務手続き上の負担が多かったため、提出書類などの手続きを簡素化してほしい。

平成28年度

【◆事業概要◆】

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	整備
補助率	森林は1ha当たり上限280千円 竹林は1ha当たり上限700千円

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	荒廃した里山・平地林(竹林を含む)について、地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき整備を実施。次年度以降についても継続的に管理を実施する。

【平成27年度繰越の実績】

280千円

- ・ 整備面積 森林 1.00ha (1市町村 1箇所)

【平成28年度の実績】

2,710千円

- ・ 整備面積 森林 3.03ha、竹林3.10ha (11市町村 12箇所)

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	11
採択箇所数	13
事業費(円)	5,934,200
県民基金(円)	5,713,000

【事業の廃止】

区分	合計
市町村数	1
廃止等の箇所数	1
廃止等の事業費	280,000
うち県民基金	280,000
廃止等の主な理由	地域住民との合意形成が不調となったため

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	11
実施箇所数	12
《決算額》	
事業費(円)	2,996,062
県民基金(円)	2,710,000

【繰越状況】

区分	合計

【成果】

- ・ 地域住民が主体的に森林(竹林)整備することにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の保全がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られると共に、地域住民の連携が強化された。

【課題・方向性】

- ・ 地域が荒廃した里山・平地林を継続的に維持管理していくためには、地域住民の維持管理の負担感を軽減し、継続的な管理意欲を高めることが重要であることから、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローする必要がある。
- ・ ぐんま緑の県民税事業の事業活用メリットを積極的にPRし、地域の合意形成や協力体制を円滑に図る必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 地域の山林がきれいになり、野生鳥獣の出没が少なくなった。
- ・ 本事業の活用をきっかけに、住民の連携が強化されることを期待する。
- ・ 地域住民の高齢化による作業人員確保の困難化が危惧される。

事業年度	平成28年度		
事業名	新井地区竹林整備事業		
事業実施主体	関口会	市町村名	安中市
事業成果	竹林整備を実施したことで、野生鳥獣の隠れ場所となり、日照を遮る原因を除去することができた。		
整備面積	0.15ha	事業費(補助金)	100,227円 (100,000円)



荒廃した里山・平地林の整備（管理）実施報告

平成26年度

◆事業概要◆

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	管理
補助率	1ha当たり上限80千円

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき森林や竹林の維持管理を実施。次年度以降についても継続的に管理を実施する。

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	4	3	1
採択箇所数	22	20	2
事業費	528,000	418,400	109,600
うち県民基金	528,000	418,400	109,600

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	1	1	—
廃止等の箇所数	17	17	—
廃止等の事業費	251,200	251,200	—
うち県民基金	251,200	251,200	—
廃止等の主な理由	土地所有者との合意形成が不調となったため		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	4	3	1
実施箇所数	5	3	2
《決算額》			
事業費(円)※	279,646	170,205	109,441
県民基金(円)	275,000	166,000	109,000

※繰越事業の概算払額を含む

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【平成26年度の実績】

275千円

- ・ 管理面積 5.10ha（4市町村 5箇所）

【成果】

- ・ 地域住民が主体的に森林(竹林)の維持管理を行うことにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の維持がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の維持が図られた。
- ・ 地域住民が地域の管理活動に参加することで、地域住民の身近な里山(竹林)環境に対する関心が高まった。

【課題・方向性】

- ・ 地域が荒廃した里山・平地林を継続的に維持管理していくためには、地域住民の維持管理の負担感を軽減し、継続的な管理意欲を高めることが重要であることから、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローする必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ これまで地域が独自で行ってきた刈払いについて支援を受けることができ、円滑に作業を実施することができた。
- ・ 5年間(平成30年度まで)継続的に支援する制度は、地域の活動についても非常に助かる。
- ・ 広く県民に森づくりの大切さとそれに協力する意識を広めるためには必要。
- ・ 荒廃地では、たとえ森林整備後であっても根までは根絶されず、地元やボランティア等の能力だけでは継続的な管理は困難。

平成27年度

◆事業概要◆

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	管理
補助率	1ha当たり上限80千円

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき森林や竹林の維持管理を実施。次年度以降についても継続的に管理を実施する。

【平成27年度の実績】

2,654千円

- ・ 管理面積 39.60ha (17市町村 38箇所)

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	20	17	5
採択箇所数	49	35	14
事業費	6,427,500	5,366,800	1,060,700
うち県民基金	6,008,600	5,195,600	813,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	5	4	1
廃止等の箇所数	11	8	3
廃止等の事業費	3,418,800	2,867,600	551,200
うち県民基金	3,041,600	2,867,600	174,000
廃止等の主な理由	経費が少額となるため補助をとりやめた		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	17	15	4
実施箇所数	38	27	11
《決算額》			
事業費	2,879,376	2,255,853	623,523
県民基金	2,654,000	2,040,000	614,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【成果】

- ・ 地域住民が主体的に森林(竹林)の維持管理を行うことにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の維持がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の維持が図られた。
- ・ 地域住民が地域の管理活動に参加することで、地域住民の身近な里山(竹林)環境に対する関心が高まった。

【課題・方向性】

- ・ 管理活動を実施しているが、事務処理等が不慣れな地域団体等が実施するため、補助金額と書類作成を比較した場合、申請をとりやめるケースが発生した。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 書類作成が不慣れな団体も存在するため、面積当たりの定額補助としてほしい。
- ・ 本事業は平成30年度までとなっているが、それ以降も継続し、地域の活動を補助してほしい。
- ・ 竹林の樹種転換を計画しているが、根が予想以上に密生しており、植栽ができない。
(除根への補助を検討していただきたい。)

平成28年度

◆事業概要◆

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	管理
補助率	1ha当たり上限80千円

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき森林や竹林の維持管理を実施。次年度以降についても継続的に管理を実施する。

【平成28年度の実績】

7,752千円

- ・ 管理面積 107.29ha (23市町村 92箇所)

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	23
採択箇所数	110
事業費	20,302,216
うち県民基金	11,154,000

【事業の廃止】

区分	合計
市町村数	4
廃止等の箇所数	11
廃止等の事業費	3,152,800
うち県民基金	2,763,000
廃止等の主な理由	経費が少額となるため補助をとりやめた

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	23
実施箇所数	92
《決算額》	
事業費	10,319,784
県民基金	7,752,000

【繰越状況】

区分	合計
市町村数	2
実施箇所数	7
《決算額》	
事業費	7,480,600
県民基金	600,000

【成果】

- ・ 地域住民が主体的に森林(竹林)の維持管理を行うことにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の維持がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の維持が図られた。
- ・ 地域住民が地域の管理活動に参加することで、地域住民の身近な里山(竹林)環境に対する関心が高まった。

【課題・方向性】

- ・ 地域が荒廃した里山・平地林を継続的に維持管理していくためには、地域住民の維持管理の負担感を軽減し、継続的な管理意欲を高めることが重要であることから、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローする必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 地域の山林がきれいになり、野生鳥獣の出没が少なくなった。不法投棄の防止や地域の安全・安心な生活環境の確保につながっている。
- ・ 本事業は平成30年度までとなっているが、それ以降も継続し、地域の活動を補助してほしい。
- ・ 地域の高齢化が進んでおり、作業のための人員確保が難しくなっている。若い参加者の確保が必要である。

事業年度	平成28年度		
事業名	宮城地区参道松並木内森林整備事業		
事業実施主体	宮城地区参道松並木を守る会	市町村名	前橋市
事業成果	参道松並木内の下草刈りを行い、地域住民の安全・安心な生活環境づくりを進めることができた。		
整備面積	2.94ha	事業費（補助金）	956,000円（235,000円）



荒廃した里山・平地林の整備（苗木購入）実施報告

平成26年度

◆事業概要◆

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	苗木購入
補助率	1ha当たり上限300千円

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	地元自治会やNPO法人等が主体となり実施する森林整備等に必要となる高木性の苗木の購入を支援

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	2 (2)	2 (2)	—
採択箇所数	2 (2)	2 (2)	—
事業費	470,000 (624,000)	470,000 (624,000)	—
うち県民基金	470,000 (624,000)	470,000 (624,000)	—

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	(1)	(1)	—
廃止等の箇所数	(1)	(1)	—
廃止等の事業費	(300,000)	(300,000)	—
うち県民基金	(300,000)	(300,000)	—
廃止等の主な理由	土地所有者との合意形成が不調となったため		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	2 (1)	2 (1)	—
実施箇所数	2 (1)	2 (1)	—
《決算額》			
事業費	469,808 (302,400)	469,808 (302,400)	—
県民基金	469,808 (302,400)	469,808 (302,400)	—

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

※括弧内は「整備」にて計上した「苗木購入」事業の金額を示す。

【平成26年度の実績】

773千円

- ・ 実施面積 2.90ha (2市町村 2箇所)
- ・ 植栽樹種 ヤマザクラなど

【成果】

- ・ ヤマザクラ等の高木性苗木の購入・植栽を支援し、未立木地が解消された。
- ・ 地域が選定した樹種を植栽することにより、地域住民による森林整備に関する意識の向上が図られた。

【課題・方向性】

- ・ 植栽後の苗木の管理について、地域における森林の維持管理体制が円滑に行われるよう支援していく。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 植栽した苗木により造成した森林を活用し、今後地域の憩いの場や森林環境教育の場として活用していきたい。
- ・ 高木性だけでなく低木性の樹種についても支援してほしい。

平成27年度

◆事業概要◆

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	苗木購入
補助率	1ha当たり上限300千円

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	地元自治会やNPO法人等が主体となり実施する森林整備等に必要となる高木性の苗木の購入を支援

【平成27年度の実績】

725千円

- ・ 実施面積 3.70ha (4市町村 4箇所)

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	5	4	1
採択箇所数	11	4	7
事業費	14,109,100	728,600	13,380,500
うち県民基金	2,154,600	728,600	1,426,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	1	—	1
廃止等の箇所数	5	—	5
廃止等の事業費	7,521,600	—	7,521,600
うち県民基金	641,000	—	641,000
廃止等の主な理由	土地所有者との合意形成が不調となったため		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	4	4	—
実施箇所数	4	4	—
《決算額》			
事業費	726,840	726,840	—
県民基金	725,000	725,000	—

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	1	—	1
実施箇所数	2	—	2
《決算額》			
事業費	5,694,900	—	5,694,900
県民基金	621,000	—	621,000

【成果】

- ・ 高木性苗木の購入・植栽を支援し、未立木地が解消された。
- ・ 困難地整備支援など、本事業により整備された箇所で植栽が実施された。

【課題・方向性】

- ・ 植栽後の苗木の管理について、地域における森林の維持管理体制が円滑に行われるよう支援していく。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 植栽した苗木により造成した森林を活用し、今後地域の憩いの場や森林環境教育の場として活用していきたい。
- ・ 高木性だけでなく低木性の樹種についても支援してほしい。
- ・ 成林するまで補助を継続してほしい。

平成28年度

◆事業概要◆

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	苗木購入
補助率	1ha当たり上限300千円

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	地元自治会やNPO法人等が主体となり実施する森林整備等に必要となる高木性の苗木の購入を支援

【平成27年度繰越の実績】

300千円

- ・ 実施面積 2.07ha (1市町村 2箇所)

【平成28年度の実績】

2,129千円

- ・ 実施面積 8.93ha (5市町村 8箇所)

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	8
採択箇所数	15
事業費(円)	3,668,920
県民基金(円)	3,668,000

【事業の廃止】

区分	合計
市町村数	2
廃止等の箇所数	2
事業費(円)	540,000
県民基金(円)	540,000
廃止等の主な理由	地域住民との合意形成が不調となったため

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	5
実施箇所数	8
《決算額》	
事業費(円)	2,192,984
県民基金(円)	2,129,000

【繰越状況】

区分	合計
市町村数	1
繰越箇所数	5
《繰越額》	
事業費(円)	507,000
県民基金(円)	507,000

【成果】

- ・ 高木性苗木の購入・植栽を支援し、未立木地が解消された。
- ・ 困難地整備支援など、本事業により整備された箇所での植栽が実施された。

【課題・方向性】

- ・ 植栽後の苗木の管理について、地域における森林の維持管理体制が円滑に行われるよう支援していく。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 地元住民や森林所有者による森林整備を進めるための両者への意識づけが課題である。
- ・ 地域の高齢化が進んでおり、若年作業者の確保が課題である。

事業年度	平成26年度		
事業名	八寸権現山整備事業		
事業実施主体	八寸の会	市町村名	伊勢崎市
事業成果	自然環境等を学び伝えていくことを通じて、地域の連携や活性化につなげるための森林整備事業。「苗木購入」では、既存林の種子による育苗作業及び植栽を実施した。		
整備面積	1.9ha(サクラ)	事業費(県民税)	170,000円 (170,000円)



荒廃した里山・平地林の整備（粉碎機、刈払機の購入）実施報告

平成26年度

【◆事業概要◆】

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	刈払機、粉碎機の購入
補助率	補助率3/4以内 (ただし、刈払機は1台当たり上限50千円、粉碎機は1台当たり上限2,800千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	市町村が刈払機、粉碎機を購入・保守管理し、貸与規定を整備して、市町村提案型事業に取り組む地域の団体等へ貸与し、地域の取組を支援する。

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	10	5	6
台数	30	16	14
事業費	39,745,060	14,590,000	25,155,060
うち県民基金	28,669,500	10,892,500	17,777,000

※台数は、刈払機と粉碎機をあわせた台数を示す。

【事業の廃止等】

区分	合計	1次	2次

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	10	5	6
台数	32	17	15
《決算額》			
事業費	33,176,556	13,394,906	19,781,650
県民基金	24,773,845	10,011,785	14,762,060

※台数は、刈払機と粉碎機をあわせた台数を示す。

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【平成26年度の実績】

24,774千円

- 導入台数 粉碎機 15台 刈払機 17台 (10市町村)

【成果】

- 粉碎機の導入により、竹林整備により発生した竹の粉碎が可能になり、竹林整備の円滑化が図られた。

【課題・方向性】

- 導入した粉碎機等の機器について、市町村が適切に管理できるよう指導に努める。
- 導入した粉碎機等が市町村の貸出規定に基づき、円滑に利用されるよう指導に努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- 小型粉碎機の導入により粉碎機の軽トラックによる現場搬入が可能となり、効果的に活用ができた。
- 粉碎機の利用要望が重なり、十分な期間利用することができなかった。
- 粉碎機の維持管理に係る経費を支援してほしい。

平成27年度

【◆事業概要◆】

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	刈払機、粉碎機の購入
補助率	補助率3/4以内 (ただし、刈払機は1台当たり上限50千円、粉碎機は1台当たり上限2,800千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	市町村が刈払機、粉碎機を購入・保守管理し、貸与規定を整備して、市町村提案型事業に取り組む地域の団体等へ貸与し、地域の取組を支援する。

【平成27年度の実績】

13,211千円

- ・ 導入台数 粉碎機 6台 粉碎器付属品1セット 刈払機 12台 (8市町村)

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	8	3	5
台数	18	4	14
事業費	22,221,120	3,454,920	18,766,200
うち県民基金	15,362,000	2,590,000	12,772,000

※台数は、刈払機と粉碎機をあわせた台数を示す。

【事業の廃止等】

区分	合計	1次	2次

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	8	3	5
台数	18	4	14
《決算額》			
事業費	19,777,122	4,701,240	15,075,882
県民基金	13,211,000	3,525,000	9,686,000

※台数は、刈払機と粉碎機をあわせた台数を示す。

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【成果】

- ・ 粉碎機の導入により、竹林整備により発生した竹の粉碎が可能になり、竹林整備の円滑化が図られた。

【課題・方向性】

- ・ 導入した粉碎機等の機器について、利用率が向上するよう指導に努める。
- ・ 導入した粉碎機等が市町村の貸出規定に基づき、円滑に利用されるよう指導に努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 伐採した竹をチップ化し、現地に敷くことで、雑草の抑制に役立っている。
- ・ 粉碎機の維持管理に係る経費(特に刃)を支援してほしい。

平成28年度

【◆事業概要◆】

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	刈払機、粉碎機の購入
補助率	補助率3/4以内 (ただし、刈払機は1台当たり上限50千円、粉碎機は1台当たり上限2,800千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	市町村が刈払機、粉碎機を購入・保守管理し、貸与規定を整備して、市町村提案型事業に取り組む地域の団体等へ貸与し、地域の取組を支援する。

【平成28年度の実績】

4,095千円

- ・ 導入台数 粉碎機 3台 刈払機 0台 (3市町村)

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	3
台数	3
事業費	5,933,496
うち県民基金	4,450,000

※台数は、刈払機と粉碎機をあわせた台数を示す。

【事業の廃止等】

区分	合計

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	3
台数	3
《決算額》	
事業費	5,462,856
県民基金	4,095,000

※台数は、刈払機と粉碎機をあわせた台数を示す。

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【成果】

- ・ 粉碎機の導入により、竹林整備で伐採した竹の粉碎が可能になり、竹林整備の円滑化が図られた。

【課題・方向性】

- ・ 導入した粉碎機等の機器について、利用率が向上するよう指導に努める。
- ・ 導入した粉碎機等が市町村の貸出規定に基づき、円滑に利用されるよう指導に努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 伐採した竹をチップ化し、現地に敷くことで、雑草の抑制に役立っている。
- ・ 粉碎機の維持管理に係る経費(特に刃)を支援してほしい。

事業年度	平成26年度		
事業名	粉碎機導入事業		
事業実施主体	高崎市	市町村名	高崎市
事業成果	大型粉碎機1台(ゼノアSR3000-2)、小型粉碎機1台(オオハシGS122GB)を購入。今後、購入した粉碎機を活用し、竹林整備を積極的に実施する。		
導入台数	2台	事業費(県民税)	3,896,640円 (2,922,000円)

粉碎機(ゼノアSR3000-2)



粉碎機(オオハシGS122GB)



事業年度	平成27年度		
事業名	林道稲合線周辺森林整備		
事業実施主体	甘楽町	市町村名	甘楽町
事業成果	刈払機10台を購入。今後、購入した刈払機を活用し、森林・竹林整備を積極的に実施する。		
導入台数	刈払機 10台	事業費(県民税)	300,000円 (225,000円)



貴重な自然環境の保護・保全 実施報告

平成26年度

【◆事業概要◆】

事業区分	貴重な自然環境の保護・保全
細区分	活動支援・付帯施設整備
補助率	活動支援：1事業当たり上限500千円(ただし、継続して実施する場合、2年目以降は1事業当たり上限250千円とする) 付帯施設整備：補助率1/2以内(ただし、上限2,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	市町村あるいは地域住民・NPO・ボランティア団体等が行う、県動植物レッドリストで野生絶滅種及び絶滅危惧種Ⅰ、Ⅱ類に指定されている種(約650種)が生息している地域の保護・保全活動を支援する。

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	6	2	4
採択箇所数	7	3	4
事業費	3,151,000	681,000	2,470,000
うち県民基金	2,051,000	581,000	1,470,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	6	2	4
実施箇所数	7	3	4
《決算額》			
事業費	3,119,529	678,901	2,440,628
県民基金	2,021,860	578,901	1,442,959

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【平成26年度の実績】

2,022千円

- ・ 取組件数 7事業 (6市町村)
- ・ 対象となる貴重種 動物2種 ミヤマシジミ、ミヤマシロチョウ 植物7種 アサザ、カッコソウほか

【成果】

- ・ 個別の貴重種保全の取組だけでなく、保護活動に地域住民等が参加することにより、地域の自然環境の保護保全に対する意識の向上が図られた。

【課題・方向性】

- ・ 今年度保護・保全に取り組んだ貴重種以外本メニューの対象となる県動植物レッドリストに指定する希少種は約650種あり、本県において保全すべき種は数多くある。このため、今後、これらの種の保護・保全の取組について積極的に支援する。
- ・ 種の保護・保全に取り組む新たな団体を市町村と協力し育成・支援に努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 市町村提案型事業はボランティアの活動支援が基本となっているが、今回、市の委託事業として実施することで貴重種の保護・保全活動に取り組むことができた。
- ・ 自然保護に取り組む団体の中には、活動体制が不十分な団体も少なくないため、これら団体の育成に関する支援をしてほしい。

平成27年度

【◆事業概要◆】

事業区分	貴重な自然環境の保護・保全
細区分	活動支援・付帯施設整備
補助率	活動支援:1事業当たり上限500千円(ただし、継続して実施する場合、2年目以降は1事業当たり上限250千円とする) 付帯施設整備:補助率1/2以内(ただし、上限2,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	市町村あるいは地域住民・NPO・ボランティア団体等が行う、県動植物レッドリストで野生絶滅種及び絶滅危惧種Ⅰ、Ⅱ類に指定されている種(約650種)が生息している地域の保護・保全活動を支援する。

【平成27年度の実績】

5,588千円

- ・ 取組件数 22事業 (10市町村)
- ・ 対象となる貴重種 動物12種 ミヤマシジミ、ヤリタナゴほか 植物25種 アサザ、カッコソウほか

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	10	9	5
採択箇所数	22	13	9
事業費	7,454,000	5,375,800	2,078,200
うち県民基金	5,988,400	3,985,400	2,003,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	10	9	5
実施箇所数	22	13	9
《決算額》			
事業費	9,446,537	7,621,609	1,824,928
県民基金	5,588,000	3,850,000	1,738,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【成果】

- ・ 個別の希少種保全の取組だけでなく、保護活動に地域住民等が参加することにより、地域の自然環境の保護保全に対する意識の向上が図られた。

【課題・方向性】

- ・ 2012年に改訂された県レッドリストに指定される希少種は約650種あり、今後、これらの種の保護・保全の取組について積極的に支援する。
- ・ 種の保護・保全に取り組む新たな団体を市町村と協力し育成・支援に努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 希少種を保護することは、人間の生活にも欠かせない生物多様性に貢献できる活動であり、今後も積極的に活動していきたい。
- ・ 自然保護に取り組む団体の中には、活動体制が不十分な団体も少なくないため、これら団体の育成に関する支援をしてほしい。

平成28年度

【◆事業概要◆】

事業区分	貴重な自然環境の保護・保全
細区分	活動支援・付帯施設整備
補助率	活動支援：1事業当たり上限500千円(ただし、継続して実施する場合、2年目以降は1事業当たり上限250千円とする) 付帯施設整備：補助率1/2以内(ただし、上限2,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	市町村あるいは地域住民・NPO・ボランティア団体等が行う、県動植物レッドリストで野生絶滅種及び絶滅危惧種Ⅰ、Ⅱ類に指定されている種(約650種)が生息している地域の保護・保全活動を支援する。

【平成28年度の実績】

7,606千円

- ・ 取組件数 25事業 (12市町村) うち、「付帯施設の整備」1事業(1市町村)
- ・ 対象となる貴重種 動物14種 ミヤマシジミ、ヤリタナゴほか 植物26種 アサザ、カッコソウほか

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	12
採択箇所数	25
事業費	12,258,449
うち県民基金	7,823,000

【事業の廃止】

区分	合計

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	12
実施箇所数	25
《決算額》	
事業費	12,243,657
県民基金	7,606,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【成果】

- ・ 個別の希少種保全の取組だけでなく、保護活動に地域住民等が参加することにより、地域の自然環境の保護保全に対する意識の向上が図られた。

【課題・方向性】

- ・ 県レッドリストに指定される希少種は約650種あり、今後、これらの種の保護・保全の取組について積極的に支援する。
- ・ 侵略的な外来種の増加が危惧されるため、貴重種の保護のためにも駆除活動に対して積極的に支援する。
- ・ 種の保護・保全に取り組む新たな団体を市町村と協力し育成・支援に努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 実際に保護活動を行う中で、若い人にも希少種保護についての理解が深まってきている。希少種保護は人間の生活にも欠かせない生物多様性に貢献できる活動であり、今後も積極的に活動していきたい。
- ・ 侵略的な外来種の繁殖が見られるようになってきたため、市民への侵略的な外来種に対する普及啓発が必要である。

事業年度	平成26年度		
事業名	男井戸川ビオトープ絶滅危惧種、準絶滅危惧種保全事業		
事業実施主体	殖蓮地区自然環境を守る会	市町村名	伊勢崎市
事業成果	男井戸川周辺の刈払いの実施により、アサザの生育環境の保全が実施でき、案内看板の設置により、希少種の保護に関し市民に周知できた。		
希少種	アサザ(絶滅危惧種IA)	事業費(補助金)	578,978円 (478,978円)

活動前



付帯施設整備により設置した看板



活動後



活動状況



事業年度	平成27年度		
事業名	南雲の里父親クラブ ヒメギフチョウ保護のためのモロコシ山整備		
事業実施主体	南雲の里父親クラブ	市町村名	渋川市
事業成果	ヒメギフチョウが生息する地域周辺の整備を行い生息環境の保護・保全を図った。		
希少種	ヒメギフチョウ(絶滅危惧I類)	事業費(補助金)	487,328円 (487,000円)

活動状況



森林環境教育・普及啓発 実施報告

平成26年度

◆事業概要◆

事業区分	森林環境教育・普及啓発
細区分	
補助率	1市町村当たり上限2,000千円(ただし、学校、教育関係団体及びNPO・ボランティア団体等に間接補助する場合は1団体当たり上限300千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動に対して支援する。

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	11	8	3
採択箇所数	18	14	4
事業費	7,457,700	6,612,700	845,000
うち県民基金	6,192,000	5,347,000	845,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	2	2	—
廃止等の箇所数	3	3	—
廃止等の事業費	900,000	900,000	—
うち県民基金	900,000	900,000	—
廃止等の主な理由	他の事業と統合して実施したため、計画を廃止した。		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	11	8	3
実施箇所数	15	11	4
《決算額》			
事業費	5,621,950	4,786,721	835,229
県民基金	4,122,811	3,323,811	799,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【平成26年度の実績】

4, 1 2 3千円

- ・ 取組件数 11市町村 15事業 参加人数 2, 151人

【成果】

- ・ 15の団体により延べ2,151人が参加し、森林や林業に対する理解を深めることができた。

【課題・方向性】

- ・ 森林環境教育については、県内35の全ての市町村で実施することが可能。しかし平成26年度については12の市町村に留まっているため、今後は市町村の教育委員会などと連携し、実施市町村(団体)の拡大を図る。
- ・ 森林環境教育を実施しようとする学校や団体に対する緑のインタープリター等の講師の斡旋を積極的に実施し、各団体が本メニューに取り組みやすい体制づくりに努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 生徒の身近にある森林(地域教材)に目を向けさせる点で、また、森林保護に対する生徒の意識の涵養を図る上で、とても意味あるものであった。
- ・ 市町村にとっても、自然観察会を継続実施する上で、複数年にわたり継続的に支援を受けることができる制度はありがたい。
- ・ 児童や生徒に自然体験や環境教育などの教育プログラムを提供する人材の育成が必要。

平成27年度

◆事業概要◆

事業区分	森林環境教育・普及啓発
細区分	
補助率	1市町村当たり上限2,000千円(ただし、学校、教育関係団体及びNPO・ボランティア団体等に間接補助する場合は1団体当たり上限300千円とする) 加算措置:学校、教育関係団体が森林環境教育・普及啓発を実施する場合に、1校(団体)当たり150千円を上限として加算(ただし基礎枠を越えた場合)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動に対して支援する。

【平成26年度の実績】

11,194千円

- ・ 取組件数 14市町村 31事業 参加人数 5,825人

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	14	12	5
採択箇所数	31	26	5
事業費	18,782,370	16,419,370	2,363,000
うち県民基金	11,889,300	10,876,300	1,013,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	14	12	5
実施箇所数	31	26	5
《決算額》			
事業費	16,667,506	14,661,806	2,005,700
県民基金	11,194,000	10,199,000	995,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【成果】

- ・ 14市町村、31事業により延べ5,825人が参加し、森林環境や林業に対する理解を深めることができた。

【課題・方向性】

- ・ 普及啓発活動により昨年度の約2倍の事業が実施され、参加者も5,825人となった。今後は、県内35の全ての市町村で実施することを目指し、教育委員会などと連携し、実施市町村(団体)の拡大を図る。
- ・ ぐんま緑の県民基金事業を用いて「森林ボランティア活動・森林環境教育の推進」で育成した講師(緑のインタープリター)を斡旋し、各団体が本メニューに取り組みやすい体制づくりに努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 自然の中で専門の講師による教育を受けることで、生徒達の記憶に残る時間となった。
- ・ 講師の派遣を依頼できるシステムとしてほしい。

平成28年度

◆事業概要◆

事業区分	森林環境教育・普及啓発
細区分	
補助率	1市町村当たり上限2,000千円(ただし、学校、教育関係団体及びNPO・ボランティア団体等に間接補助する場合は1団体当たり上限300千円とする) 加算措置:学校、教育関係団体が森林環境教育・普及啓発を実施する場合に、1校(団体)当たり150千円を上限として加算(ただし基礎枠を越えた場合)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動に対して支援する。

【平成28年度の実績】

18,259千円

- ・ 取組件数 20市町村 39事業 参加人数 9,484人

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	20
採択箇所数	40
事業費	25,757,620
うち県民基金	19,738,000

【事業の廃止】

区分	合計
市町村数	1
廃止等の箇所数	1
廃止等の事業費	300,000
うち県民基金	300,000
廃止等の主な理由	事業主体より補助金を活用しない旨の申出があったため

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	20
実施箇所数	39
《決算額》	
事業費	24,242,047
県民基金	18,259,000

【繰越状況】

区分	合計

【成果】

- ・ 20市町村、39事業により延べ9,484人が参加し、森林環境や林業に対する理解を深めることができた。

【課題・方向性】

- ・ 普及啓発活動により昨年度の約1.7倍の事業が実施され、参加者も9,484人となった。今後は、県内35の全ての市町村で実施することを目指し、教育委員会などと連携し、実施市町村(団体)の拡大を図る。
- ・ ぐんま緑の県民基金を用いて「森林ボランティア活動・森林環境教育の推進」で育成した講師(緑のインタープリター)を斡旋し、各団体が本メニューに取り組みやすい体制づくりに努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 地域の課題への取り組みを通して群馬の自然を守るという活動の機運の高まりが見られた。
- ・ より多くの方に観察会等に参加してもらえるように周知方法の検討が必要である。

事業年度	平成27年度		
事業名	森林体験日帰りツアー		
事業実施主体	千代田町	市町村名	千代田町
事業成果	国立赤城青少年交流の家での自然体験活動を実施し、森林環境の大切さを学んだ。		
参加人数	37名	事業費（補助金）	165,504円（163,000円）

植樹体験



木工体験



事業年度	平成28年度		
事業名	太田市森林環境教育・自然観察会支援事業		
事業実施主体	太田市教育委員会	市町村名	太田市
事業成果	太田市内の中学生を対象とした赤城山での自然観察会等を通して森林環境の大切さを学んだ。		
参加人数	1,723名	事業費（補助金）	3,000,000円（3,000,000円）

自然観察会



森林の公有林化 実施報告

平成26年度

◆事業概要◆

事業区分	森林の公有林化
細区分	水源地域の公有林化、平地林の公有林化
補助率	補助率1/2以内(ただし、上限10,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	水源地域の森林の公有林化や平地林を公有林化あるいは造成しようとする市町村の取組を支援する。

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	3	1	2
採択箇所数	3	1	2
事業費	29,553,000	20,000,000	9,553,000
うち県民基金	14,776,500	10,000,000	4,776,500

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	3	1	2
実施箇所数	3	1	2
《決算額》			
事業費	28,642,000	19,990,000	8,652,000
県民基金	14,321,000	9,995,000	4,326,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【平成26年度の実績】

14,321千円

- ・ 購入面積 水源林 11.04ha 平地林 0.34ha (3市町村 3箇所)

【成果】

- ・ 公有林化された森林については、今後適切な管理により公益的機能が高度に発揮される森林として管理されることが期待される。

【課題・方向性】

- ・ 購入した森林について、市町村が策定する市町村森林整備計画に公益的機能別施業森林として位置づけ、適正に管理されるようサポートする必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 公有林化によりこれまで以上に高度な公益的機能が発揮できる森林整備(森林管理)が実施できるようになった。
- ・ 公有財産購入費以外の測量経費などについても支援してほしい。

平成27年度

◆事業概要◆

事業区分	森林の公有林化
細区分	水源地域の公有林化、平地林の公有林化
補助率	補助率1/2以内(ただし、上限10,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	水源地域の森林の公有林化や平地林を公有林化あるいは造成しようとする市町村の取組を支援する。

【平成27年度の実績】

10,000千円

- ・ 購入面積 平地林 0.28ha (太田市)

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	1	1	—
採択箇所数	1	1	—
事業費	33,200,000	33,200,000	—
うち県民基金	9,485,000	9,485,000	—

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	1	1	—
実施箇所数	1	1	—
《決算額》			
事業費	20,235,300	20,235,300	—
県民基金	10,000,000	10,000,000	—

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【成果】

- ・ 公有林化された森林については、今後適切な管理により公益的機能が高度に発揮される森林として管理されることが期待される。

【課題・方向性】

- ・ 購入した森林について、市町村が策定する市町村森林整備計画に公益的機能別施業森林として位置づけ、適正に管理されるようサポートする必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 市民が親しめる森林となるよう整備支援してほしい。

平成28年度

◆事業概要◆

事業区分	森林の公有林化
細区分	水源地域の公有林化、平地林の公有林化
補助率	補助率1/2以内(ただし、上限10,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	水源地域の森林の公有林化や平地林を公有林化あるいは造成しようとする市町村の取組を支援する。

【平成28年度の実績】

(2,645千円)

※括弧内は繰越事業の概算払額を示す。

- ・ 購入面積 水源林 3.1ha (川場村)

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	1
採択箇所数	1
事業費	6,351,130
うち県民基金	3,175,000

【事業の廃止】

区分	合計

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	(1)
実施箇所数	(1)
《決算額》	
事業費	(2,645,000)
県民基金	(2,645,000)

【繰越状況】

区分	合計
市町村数	1
実施箇所数	1
《決算額》	
事業費	6,351,130
県民基金	530,000

※括弧内は繰越事業の概算払額を示す。

【成果】

- ・ 公有林化された森林については、今後適切な管理により公益的機能が高度に発揮される森林として管理されることが期待される。

【課題・方向性】

- ・ 購入した森林について、市町村が策定する市町村森林整備計画に公益的機能別施業森林として位置づけ、適正に管理されるようサポートする必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

--

【事業実施者・地域住民等からの意見】

--

事業年度	平成26年度		
事業名	水源林公有林化事業		
事業実施主体	川場村	市町村名	川場村
事業成果	薄根川上流の放置された森林を10.37ha購入し、公有林化を実施した。		
購入面積	10.37ha(103,762㎡)	事業費(補助金)	19,990,000円 (9,995,000円)

購入場所
川場村谷地字黒岩地内



事業年度	平成27年度		
事業名	(仮称)矢場町地内平地林事業		
事業実施主体	太田市	市町村名	太田市
事業成果	平地林を造成し、管理する事で森林の持つ公益的機能増進を図る。		
購入面積	0.28ha(2,811.53㎡)	事業費(補助金)	20,235,300円 (10,000,000円)

購入場所
太田市矢場町地内



独自提案事業 実施報告

平成26年度

◆事業概要◆

事業区分	独自提案事業
細区分	
補助率	補助率1/2以内

基本方針

里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
ぐんま緑の県民税の趣旨・目標に照らし、適切な事業内容であると認められ、かつ第三者機関である「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」の承認を得たものであること。

【平成26年度の実績】

4,344,200円

- 整備面積 森林 5.38ha、竹林 3.12ha

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	4	2	2
採択箇所数	5	3	2
事業費	14,306,600	11,586,600	2,720,000
うち県民基金	5,792,500	4,432,500	1,360,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	4	2	2
実施箇所数	5	3	2
《決算額》			
事業費	13,402,036	10,687,996	2,714,040
県民基金	4,344,200	2,987,600	1,356,600

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【課題・方向性】

- 市町村が整備後の管理団体の構築を促し、困難地整備支援による支援に努める。
- 多くの自治会や団体が森林整備に取り組めるよう指導を行い、引き続き地域の取組を支援する。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- 採択された計画内容に基づき、適正に実施されている。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- 次年度以降の管理についてもぐんま緑の県民基金事業を活用し、自然遊歩道周辺の森林整備(管理)を実施したい。
- 補助金を活用することで、鳥獣害被害防止のための緩衝帯作りができた。
- 平地林に隣接した河川沿いの生育不良木等の除伐が実施できたことで、森林の公益的機能の回復ができた。
- 森林内の遊歩道などへ侵出していた枝や下草を除去できたことで、地域住民や通行人への安全確保ができた。

平成27年度

◆事業概要◆

事業区分	独自提案事業
細区分	
補助率	補助率1/2以内

基本方針

里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
ぐんま緑の県民税の趣旨・目標に照らし、適切な事業内容であると認められ、かつ第三者機関である「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」の承認を得たものであること。

【平成27年度の実績】

8,609千円

- 整備面積 森林 2.2ha、竹林 4.54ha

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	6	5	2
採択箇所数	7	5	2
事業費	27,956,600	15,512,600	12,444,000
うち県民基金	12,169,500	5,947,500	6,222,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	1	1	
廃止等の箇所数	1	1	
廃止等の事業費	2,996,000	2,996,000	
うち県民基金	700,000	700,000	
廃止等の主な理由	事業地の確保が困難となったため		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	5	4	2
実施箇所数	6	4	2
《決算額》			
事業費	22,375,966	13,126,366	9,249,600
県民基金	8,609,000	3,985,000	4,624,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【課題・方向性】

- 多くの自治会や団体が森林整備に取り組めるよう指導を行い、引き続き地域の取組を支援する。
- 整備後に開催される森林環境教育が、生徒の記憶に残り、森林環境への興味が湧く内容としたい。
- 粉碎機の導入後のメンテナンス、適切な運用を行う。
- 整備完了後の良好な状態を維持するよう、適切な管理を行う。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- 採択された計画内容に基づき、適正に実施されている。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- 補助金を活用することで、鳥獣害被害防止のための緩衝帯作りができた。
- 県民基金事業を活用することにより、竹林整備事業の促進が図れた。また、地域自治会から多くの実施要望箇所があるため、今後も本事業を進めていきたい。
- 整備された森林を継続的に維持すると共に、森林環境教育の内容を充実させたい。
- 平地林に隣接した河川沿いの生育不良木等の除伐が実施できたことで、森林の公益的機能の回復ができた。
- 森林内の遊歩道などへ侵出していた枝や下草を除去できたことで、地域住民や通行人への安全確保ができた。

平成28年度

【◆事業概要◆】

事業区分	独自提案事業
細区分	
補助率	補助率1/2以内

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造 ぐんま緑の県民税の趣旨・目標に照らし、適切な事業内容であると認められ、かつ第三者機関である「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」の承認を得たものであること。
------	--

【平成28年度の実績】

1,838千円

- 整備面積 森林 1.01ha、竹林 1.76ha

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	3
採択箇所数	3
事業費	9,956,700
うち県民基金	3,824,000

【事業の廃止】

区分	合計
市町村数	1
廃止等の箇所数	1
廃止等の事業費	299,700
うち県民基金	149,000
廃止等の主な理由	事業主体の資金不足のため

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	2
実施箇所数	2
《決算額》	
事業費	6,379,917
県民基金	1,838,000

【繰越状況】

区分	合計

【課題・方向性】

- 多くの自治会や団体が森林整備に取り組めるよう指導を行い、引き続き地域の取組を支援する。
- 整備完了後の良好な状態を維持するよう、適切な管理を行う。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- 採択された計画内容に基づき、適正に実施されている。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- 補助金を活用することで、鳥獣害被害防止のための緩衝帯作りができた。
- 県民基金事業を活用することにより、竹林整備事業の促進が図れた。また、地域自治会から多くの実施要望箇所があるため、今後も本事業を進めていきたい。

事業年度	平成27年度		
事業名	竹林整備事業		
事業実施主体	渋川市	市町村名	渋川市
事業成果	県民基金事業を活用することにより、竹林整備事業の促進が図れた。		
整備面積	0.75ha	事業費（補助金）	4,744,440円 (1,012,000円)



アンケートによる事業評価の判定結果一覧

平成28年度評価（平成26～27年度事業）及び平成29年度評価（平成27～29年度事業）の合計

事業名	箇所数	アンケート結果による判定					備考
		内訳	A	B	C	判定不能	
荒廃した里山・平地林	93	箇所数	63	29	0	1	
		構成比%	68%	31%	0%	1%	
荒廃した里山・平地林 【刈払機・粉碎機の購入】	17	箇所数	11	6	0	0	
		構成比%	65%	35%	0%	0%	
貴重な自然環境の保護・保全	20	箇所数	17	3	0	0	
		構成比%	85%	15%	0%	0%	
森林環境教育・普及啓発	33	箇所数	28	5	0	0	
		構成比%	85%	15%	0%	0%	
森林の公有林化	3	箇所数	1	2	0	0	
		構成比%	33%	67%	0%	0%	
独自提案事業	8	箇所数	4	4	0	0	
		構成比%	50%	50%	0%	0%	
合計	174	箇所数	124	49	0	1	
		構成比%	71%	28%	0%	1%	

A判定：取組が特に優れており、模範となり得る。

B判定：現状の取組が充分である。

C判定：現状の取組には課題があり、改善が必要。

● 市町村提案型事業関係

平成26年度 市町村提案型事業 市町村別 一覧

○平成26年度 市町村別の採択状況及び実施状況は次のとおりです。

	市町村名	採択						実施状況					
		第1次募集		第2次募集		合計		実績(完了)		繰越		廃止*	
		事業数	補助金額	事業数	補助金額	事業数	補助金額	事業数	補助金額	事業数	補助金額	事業数	補助金額
1	前橋市	5	1,591,600	2	109,600	7	1,701,200	5	918,000			2	776,000
2	高崎市	28	6,618,400	3	40,160,000	31	46,778,400	9	6,215,879	2	36,100,000	20	1,431,200
3	桐生市			1	500,000	1	500,000	1	493,646				
4	伊勢崎市	4	671,000			4	671,000	4	668,978				
5	太田市	1	1,296,000	1	3,499,000	2	4,795,000	2	5,123,000				
6	沼田市	4	6,626,000	3	3,414,000	7	10,040,000	3	5,456,000	4	4,206,000		
7	館林市			2	560,000	2	560,000	2	562,000				
8	渋川市	1	1,012,500	1	240,400	2	1,252,900	2	1,240,200				
9	藤岡市			3	2,367,000	3	2,367,000	3	2,077,000				
10	富岡市	2	7,100,000	2	8,100,000	4	15,200,000	2	4,086,000	2	5,896,800		
11	安中市			9	6,830,000	9	6,830,000	8	5,537,000	1	350,000		
12	みどり市			1	350,000	1	350,000	1	350,000				
13	榛東村					0	0						
14	吉岡町					0	0						
15	上野村	2	3,888,000	1	900,000	3	4,788,000	3	2,050,955				
16	神流町			1	792,000	1	792,000	1	820,000				
17	下仁田町			6	10,335,000	6	10,335,000			6	10,335,000		
18	南牧村			2	900,000	2	900,000	1	600,000			1	300,000
19	甘楽町	3	5,175,000	1	860,000	4	6,035,000	4	6,027,885				
20	中之条町	1	581,400	1	1,277,500	2	1,858,900	2	1,458,400				
21	長野原町					0	0						
22	嬭恋村	2	2,840,000	3	2,720,000	5	5,560,000	4	4,854,063			1	500,000
23	草津町					0	0						
24	高山村	1	1,260,000	1	1,566,000	2	2,826,000	2	2,821,000				
25	東吾妻町			1	350,000	1	350,000	1	270,000				
26	片品村	2	1,600,000	1	3,050,000	3	4,650,000	3	4,051,060				
27	川場村	4	12,761,100			4	12,761,100	4	12,755,908				
28	昭和村	2	2,880,000	1	1,300,000	3	4,180,000	3	3,744,000				
29	みなかみ町	2	13,800,000	1	19,300,000	3	33,100,000	1	232,000	2	32,800,000		
30	玉村町					0	0						
31	板倉町	1	300,000			1	300,000	1	300,000				
32	明和町	1	1,080,000			1	1,080,000	1	1,058,400				
33	千代田町			1	185,000	1	185,000	1	137,000				
34	大泉町					0	0						
35	邑楽町	1	300,000	1	500,000	2	800,000	2	798,000				
	県計	67	71,381,000	50	110,165,500	117	181,546,500	76	74,706,374	17	89,687,800	24	3,007,200

※「廃止」とは、採択された市町村提案型事業について、各事業実施主体が事業そのものの執行をとりやめることを示す。

平成27年度 市町村提案型事業 市町村別 一覧

○平成27年度 市町村別の採択状況及び実施状況は次のとおりです。

	市町村名	平成26年度繰越				平成27年度採択						平成27年度実施状況						平成27年度内完了	
		繰越		実績		第1次募集		第2次募集		合計		実績(完了)		繰越		廃止※			
		事業数	補助金額	事業数	補助金額	事業数	補助金額	事業数	補助金額	事業数	補助金額	事業数	補助金額	事業数	補助金額	事業数	補助金額	事業数	補助金額
1	前橋市					10	2,394,000	7	1,611,000	17	4,005,000	17	3,959,000					17	3,959,000
2	高崎市	2	36,100,000	2	35,926,000	17	27,926,600	3	856,000	20	28,782,600	13	6,649,000	2	19,986,000	5	537,600	15	42,575,000
3	桐生市					5	1,884,200			5	1,884,200	5	1,821,000					5	1,821,000
4	伊勢崎市					5	821,100	2	354,000	7	1,175,100	7	1,155,000					7	1,155,000
5	太田市					4	17,764,000	2	8,267,000	6	26,031,000	5	29,282,000			1	49,000	5	29,282,000
6	沼田市	4	4,206,000	4	4,193,000	6	1,883,000	1	2,655,000	7	4,538,000	3	557,000			4	3,981,000	7	4,750,000
7	館林市					5	1,404,000			5	1,404,000	5	1,328,000					5	1,328,000
8	洪川市					3	1,176,100	1	500,000	4	1,676,100	4	1,663,000					4	1,663,000
9	藤岡市					5	3,733,000	13	9,348,000	18	13,081,000	16	8,221,000	2	5,147,000			16	8,221,000
10	富岡市	2	5,896,800	2	5,896,000	2	3,110,000	3	5,677,000	5	8,787,000	5	6,987,000					7	12,883,000
11	安中市	1	350,000	1	140,000			11	5,142,000	11	5,142,000	9	1,165,000			2	3,975,000	10	1,305,000
12	みどり市					2	1,546,000			2	1,546,000	2	1,222,000					2	1,222,000
13	榛東村									0	0							0	0
14	吉岡町									0	0							0	0
15	上野村					2	110,000	2	7,100,000	4	7,210,000	4	4,339,000					4	4,339,000
16	神流町					3	1,946,000	3	1,752,000	6	3,698,000	5	3,754,000			1	700,000	5	3,754,000
17	下仁田町	6	10,335,000	6	8,172,000			22	8,640,000	22	8,640,000			6	4,212,000	16	4,081,000	6	8,172,000
18	南牧村					2	3,152,000			2	3,152,000	2	3,131,000					2	3,131,000
19	甘楽町					4	3,065,000	2	2,250,000	6	5,315,000	6	6,145,000					6	6,145,000
20	中之条町					3	1,540,000	1	1,743,000	4	3,283,000	4	3,261,000					4	3,261,000
21	長野原町					1	500,000			1	500,000			1	500,000			0	0
22	嬭恋村					6	1,220,000	3	436,000	9	1,656,000	8	703,000			1	500,000	8	703,000
23	草津町									0	0							0	0
24	高山村					6	9,629,000	4	25,841,000	10	35,470,000	9	40,954,000			1	8,875,000	9	40,954,000
25	東吾妻町					2	5,928,000	4	8,727,000	6	14,655,000	5	5,750,000			1	5,900,000	5	5,750,000
26	片品村					3	3,421,200	3	6,430,000	6	9,851,200	6	11,974,000					6	11,974,000
27	川場村					3	4,465,000	1	2,950,000	4	7,415,000	4	7,408,000					4	7,408,000
28	昭和村					4	2,760,000	1	2,945,000	5	5,705,000	5	5,687,000					5	5,687,000
29	みなかみ町	2	32,800,000	2	16,910,000	6	11,306,800	3	38,100,000	9	49,406,800	4	6,098,000	3	32,460,000	2	4,966,800	6	23,008,000
30	玉村町							2	1,351,000	2	1,351,000	2	1,112,000					2	1,112,000
31	板倉町					1	300,000	1	300,000	2	600,000	2	600,000					2	600,000
32	明和町					1	86,000			1	86,000	1	86,000					1	86,000
33	千代田町					1	181,000			1	181,000	1	163,000					1	163,000
34	大泉町									0	0							0	0
35	邑楽町					1	350,000			1	350,000	1	350,000					1	350,000
	県計	17	89,687,800	17	71,237,000	113	113,602,000	95	142,975,000	208	256,577,000	160	165,524,000	14	62,305,000	34	33,565,400	177	236,761,000

※「廃止」とは、採択された市町村提案型事業について、各事業実施主体が事業そのものの執行をとりやめることを示す。

平成28年度 市町村提案型事業 市町村別 一覧

○平成28年度 市町村別の採択状況及び実施状況は次のとおりです。

	市町村名	平成27年度繰越				平成28年度採択		平成28年度実施状況						平成28年度内完了	
		繰越		実績		事業数	補助金額	実績(完了)		繰越		廃止 [※]			
		事業数	補助金額	事業数	補助金額			事業数	補助金額	事業数	補助金額	事業数	補助金額	事業数	補助金額
1	前橋市					21	6,205,000	21	5,960,000					21	5,960,000
2	高崎市	2	19,986,000	1	280,000	28	45,010,000	25	23,875,000	2	4,037,000	1	300,000	26	24,155,000
3	桐生市					6	1,629,000	6	1,378,000					6	1,378,000
4	伊勢崎市					6	1,062,000	6	1,062,000					6	1,062,000
5	太田市					6	6,845,000	6	6,284,000					6	6,284,000
6	沼田市					12	16,137,000	8	7,355,000			4	5,841,000	8	7,355,000
7	館林市					5	2,092,000	5	2,087,000					5	2,087,000
8	渋川市					4	1,336,000	4	1,294,000					4	1,294,000
9	藤岡市	2	5,147,000	2	5,144,000	24	19,029,000	22	8,008,000	2	10,739,000			24	13,152,000
10	富岡市					6	6,057,000	6	4,937,000					6	4,937,000
11	安中市					8	376,000	8	371,000					8	371,000
12	みどり市					2	8,510,000	2	8,242,000					2	8,242,000
13	榛東村					2	530,000	2	522,000					2	522,000
14	吉岡町					1	95,000	1	89,000					1	89,000
15	上野村					4	1,745,000	4	1,695,000					4	1,695,000
16	神流町					7	6,419,000	6	5,248,000	1	374,000			6	5,248,000
17	下仁田町	6	4,212,000	6	3,667,000	21	7,043,000	3	232,000	12	7,057,000	6	194,000	9	3,899,000
18	南牧村					6	5,444,000	4	1,646,000			2	2,680,000	4	1,646,000
19	甘楽町					7	10,055,000	7	2,290,000					7	2,290,000
20	中之条町					9	6,116,000	8	2,719,000	1	2,700,000			8	2,719,000
21	長野原町	1	500,000	1	500,000	4	6,400,000	4	6,471,000					5	6,971,000
22	嬭恋村					10	4,750,000	10	5,892,000					10	5,892,000
23	草津町					1	500,000	1	500,000					1	500,000
24	高山村					12	56,396,000	11	55,163,000			1	1,420,000	11	55,163,000
25	東吾妻町					13	12,392,000	9	7,284,000			4	4,710,000	9	7,284,000
26	片品村					8	8,315,000	7	7,155,000			1	240,000	7	7,155,000
27	川場村					5	13,522,000	4	12,888,000	1	530,000			4	12,888,000
28	昭和村					9	7,770,000	9	7,758,000					9	7,758,000
29	みなかみ町	3	32,460,000	2	24,620,000	8	14,884,000	2	7,019,000	3	7,025,000	3	797,000	4	31,639,000
30	玉村町					3	500,000	3	500,000					3	500,000
31	板倉町					2	600,000	2	600,000					2	600,000
32	明和町					2	336,000	2	283,000					2	283,000
33	千代田町					1	200,000	1	185,000					1	185,000
34	大泉町					1	900,000	1	900,000					1	900,000
35	邑楽町					2	800,000	2	769,000					2	769,000
	県計	14	62,305,000	12	34,211,000	266	280,000,000	222	198,661,000	22	32,462,000	22	16,182,000	234	232,872,000

※「廃止」とは、採択された市町村提案型事業について、各事業実施主体が事業そのものの執行をとりやめることを示す。

市町村提案型事業の事業内容（採択要件、補助対象経費など）

〇市町村提案型事業の事業内容は次のとおりです。（ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業補助金交付要綱別表1抜粋）

事業区分	細区分	経費の内訳		補助率等	国及び県による既存事業との併用区分	市町村と土地権利者、事業実施者の3者により事業実施及び転用等の権利制限（10年間）に関する協定を締結すること。	採択要件等	補助対象経費	重要な変更
		経費の内訳	補助率等						
荒廃した里山・平地林の整備	整備	間接補助事業者が実施する会議開催、刈払い、伐倒（伐竹）、玉切り、集積、精込み、運搬等に対する補助に要する経費	森林は1ha当たり上限280千円 竹林は1ha当たり上限700千円	森林は1ha当たり上限280千円 竹林は1ha当たり上限700千円	国及び県による既存事業との併用区分	市町村と土地権利者、事業実施者の3者により事業実施及び転用等の権利制限（10年間）に関する協定を締結すること。	同一地につき1回とする。	需用費、役務費、委託費、使用料及び賃借料、工事請負費、原材料費、補助品購入費、補助金	(1)区分ごとの補助対象経費の30%を超える減 (2)区分内の新事業箇所の新設・変更・廃止 (3)区分相互間における30%を超える経費の配分
	苗木購入	間接補助事業者が実施する苗木等の購入に対する補助に要する経費	1ha当たり上限300千円	1ha当たり上限300千円	併用区分	対象は高木性樹種の苗木等とし、本事業の整備箇所に掲載すること。	助成は、本事業の実施期間内かつ最長5年とする。	需用費、役務費、委託費、使用料及び賃借料、工事請負費、原材料費、補助品購入費、補助金	
	管理	間接補助事業者が実施する会議開催、刈払い、集積、精込み、運搬等に対する補助に要する経費	1ha当たり上限80千円	1ha当たり上限80千円	併用区分	助成は、本事業の実施期間内かつ最長5年とする。	助成は、本事業の実施期間内かつ最長5年とする。	需用費、役務費、委託費、使用料及び賃借料、工事請負費、原材料費、補助品購入費、補助金	
	困難地整備支援	刈払い、伐倒（伐竹）、玉切り、集積、精込み、運搬等に対する補助に要する経費	森林は1ha当たり上限500千円 竹林は1ha当たり上限700千円 特殊伐採は補助率1/2以内 （ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業補助金交付要綱別表1に照準する。）	森林は1ha当たり上限500千円 竹林は1ha当たり上限700千円 特殊伐採は補助率1/2以内 （ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業補助金交付要綱別表1に照準する。）	併用区分	市町村が刈払機、粉砕機を購入し、貸与規定を整備して本事業に取り組み間接補助事業者に貸与する場合を対象とする。	市町村が刈払機、粉砕機を購入し、貸与規定を整備して本事業に取り組み間接補助事業者に貸与する場合を対象とする。	需用費、役務費、委託費、使用料及び賃借料、工事請負費、原材料費、補助品購入費、補助金	
貴重な自然環境の保護・保全	刈払機、粉砕機の購入	刈払機、粉砕機の購入に要する経費	補助率3/4以内 （ただし、刈払機は1台当たり上限50千円、粉砕機は1台当たり上限2,800千円とする）	補助率3/4以内 （ただし、刈払機は1台当たり上限50千円、粉砕機は1台当たり上限2,800千円とする）	併用区分	市町村が刈払機、粉砕機を購入し、貸与規定を整備して本事業に取り組み間接補助事業者に貸与する場合を対象とする。	市町村が刈払機、粉砕機を購入し、貸与規定を整備して本事業に取り組み間接補助事業者に貸与する場合を対象とする。	賃金、報償費、旅費、薬用費、役務費、委託費、使用料及び賃借料、工事請負費、原材料費、補助金	
	活動支援	(1)希少動植物の生息環境の保護・保全及び地域住民等への啓発活動に要する経費 (2)間接補助事業者が実施する希少動植物の生息環境の保護・保全及び地域住民等への啓発活動に対する補助に要する経費	1事業当たり上限500千円 （ただし、継続して実施する場合、2年目以降は1事業当たり上限250千円とする）	1事業当たり上限500千円 （ただし、継続して実施する場合、2年目以降は1事業当たり上限250千円とする）	併用区分	(1)「群馬県の絶滅のおそれのある野生生物（2012年改訂版）」で野生絶滅及び絶滅危惧種Ⅰ、Ⅱ類に指定されている種の生息環境の保護・保全活動を対象とする。 (2)市町村とNPO・ボランティア団体等の連携事業の場合は、土地権利者を合わせた3者協定を締結することとする。	本事業の実施期間内かつ最長5年とする。 「活動支援」の対象事業のうち、施設設備が必要と認められものを対象とし、同一事業につき1回とする。	賃金、報償費、旅費、薬用費、役務費、委託費、使用料及び賃借料、工事請負費、原材料費、補助金	
森林環境教育・普及啓発	付帯施設の整備	上記の活動支援に必要と認められる施設整備に要する経費	補助率1/2以内 （ただし、上限2,000千円とする）	補助率1/2以内 （ただし、上限2,000千円とする）	併用区分	(1)助成は、本事業の実施期間内かつ最長5年とする。 (2)森林環境教育の実施にあたっては、専門の講師によるものとする。	本事業の実施期間内かつ最長5年とする。	賃金、報償費、旅費、薬用費、役務費、委託費、使用料及び賃借料、工事請負費、原材料費、補助金	
	森林環境教育	(1)児童生徒や県民を対象とした森林環境教育及び森林体験活動等に要する経費 (2)間接補助事業者が実施する児童生徒や県民を対象とした森林環境教育及び森林体験活動等に対する補助に要する経費	①基礎校 上限2,000千円 （ただし、学校、教育関係団体及びNPO・ボランティア団体等に間接補助する場合は1団体当たり上限300千円とする） ②加算措置 学校、教育関係団体が実施する森林環境教育・普及啓発については、基礎校を超える経費について1校（団体）当たり150千円を上限として加算する。	①基礎校 上限2,000千円 （ただし、学校、教育関係団体及びNPO・ボランティア団体等に間接補助する場合は1団体当たり上限300千円とする） ②加算措置 学校、教育関係団体が実施する森林環境教育・普及啓発については、基礎校を超える経費について1校（団体）当たり150千円を上限として加算する。	併用区分	次の要件を満たす森林を対象とする。 ①森林内に地域の重要な水源が存在すること。 ②公的管理されていること、水源涵養機能維持増進森林に区分されているか又は区分されることとが確実と見込まれること。 ③市町村森林整備計画の「水源涵養機能維持増進森林」に区分されていること。 ④県と森林管理及び転用禁止を定めた20年間の協定を締結すること。 次の要件を満たす森林を対象とする。 ①快通環境形成機能や保樹休養機能が特に求められる森林で公的管理が必要であること。 ②市町村森林整備計画の「快通環境形成機能維持増進森林」又は「保健文化機能維持増進森林」に区分されているか又は区分されることとが確実と見込まれること。 ③森林造成のための用地取得の面積が0.3haを超え、市街化区域でないこと。 ④県と森林管理及び転用禁止を定めた20年間の協定を締結すること。	報償費、旅費、薬用費、役務費、委託費、使用料及び賃借料、工事請負費、原材料費、補助金		
水源地域森林の公有林化	水源地域森林の公有林化	水源地域の森林の購入に要する経費	補助率1/2以内 （ただし、上限10,000千円とする）	補助率1/2以内 （ただし、上限10,000千円とする）	併用区分	平地林又は平地林を造成しようとする用地の購入に要する経費	公有財産購入費		
森林の公有林化	平地林の公有林化	平地林又は平地林を造成しようとする用地の購入に要する経費	補助率1/2以内 （ただし、上限10,000千円とする）	補助率1/2以内 （ただし、上限10,000千円とする）	併用区分	平地林又は平地林を造成しようとする用地の購入に要する経費	公有財産購入費		
独自提案事業		ぐんま緑の県民税制度の目標を達成するための独自提案事業に要する経費	補助率1/2以内	補助率1/2以内	併用区分	ぐんま緑の県民税制度の目標を達成するための独自提案事業に要する経費			(1)ぐんま緑の県民税の趣旨・目標に照らし、適切な事業内容であると認められ、かつ第三者機関である「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」の承認を得たものであること。 (2)管理運営的経費、既存施設の維持修繕に充てるものではないこと。

● 制度運営関係

○ 普及啓発

ポスター・パンフレットによる普及啓発

平成26年度

○ポスター・リーフレットの作成

ポスター : 1,000部

リーフレット : 15,000部

○ぐんまちゃんのイラストを活用したロゴの作成



ポスター



リーフレット

平成27年度

○パンフレット : 10,000部



平成28年度

○パンフレットの増刷 : 5,000部

○子供向けパンフレットの作成 : 2,000部



広報媒体を利用した普及啓発

平成26年度

○広報

・ぐんま広報(1回)、グラフぐんま(1回)、ぐんまちゃんの掲示板(上毛新聞16回)、税金相談(上毛新聞1回)、県メールマガジン「ぐん！とGUNMA」(2回)、エフエムGUNMA「あさナビ」(2回)、エフエムGUNMA「情報トッピング」(5回)、エフエムGUNMAスポットCM(9回)、群馬テレビ「ジャスト6」(1回)など

○新聞広告

・上毛新聞(6月3日)、読売新聞(6月5日)、朝日新聞(6月3日)



出前講座・市町村説明会・地元説明会

平成26年度

○地域からの要請にもとづく出前講座の実施
(安中市、邑楽町、前橋市)

○市町村(学校・教育委員会を含む)職員を
対象とした説明会(県内全域)



平成27年度

○市町村(学校・教育委員会を含む)職員を対象とした説明会(県内全域)

○地域からの要請にもとづく説明会の実施(沼田市)

平成28年度

○市町村(学校・教育委員会を含む)職員を対象とした説明会(県内全域)

平成26年度

○「歩いて知ろう！ぐんまの森林ツアー」

県民を対象に、人工林の整備箇所や県内の豊かな森林を見学し、「ぐんま緑の県民税」と群馬の森林について理解を深めることを目的としたバスツアーを実施(参加者アンケートを実施)

- ・1回目:平成26年10月26日(日)実施
北毛コース:玉原高原～川場村人工林整備箇所
参加者・・・太田合庁発:25名
前橋合庁発:25名
- ・2回目:平成26年11月 9日(日)実施
西毛コース:浅間隠山～高崎市倉渕町人工林整備箇所
参加者・・・高崎合庁発:22名



森林トレッキング(玉原高原)



森林トレッキング(玉原高原)



整備箇所見学(川場村)

平成27年度

○「ぐんまの森林をトレッキング！歩こう、登ろう！ぐんまの森林ツアー」

県民を対象に、人工林の整備箇所や県内の豊かな森林を見学し、「ぐんま緑の県民税」と群馬の森林について理解を深めることを目的としたバスツアーを実施(参加者アンケートを実施)

- ・1回目:平成27年10月16日(金)
北毛コースⅠ 玉原高原～みなかみ町竹林整備箇所
参加者・・・前橋合同庁舎発:25名
太田合同庁舎発:25名
- ・2回目:平成27年10月25日(日)
北毛コースⅡ 玉原高原～みなかみ町竹林整備箇所
参加者・・・前橋合同庁舎発:25名
高崎合同庁舎発:24名
- ・3回目:平成27年10月28日(水)
中毛コース 赤城山(覚満淵・小沼)～前橋市松くい虫被害地整備箇所
参加者・・・前橋合同庁舎発:14名



森林トレッキング(玉原高原)



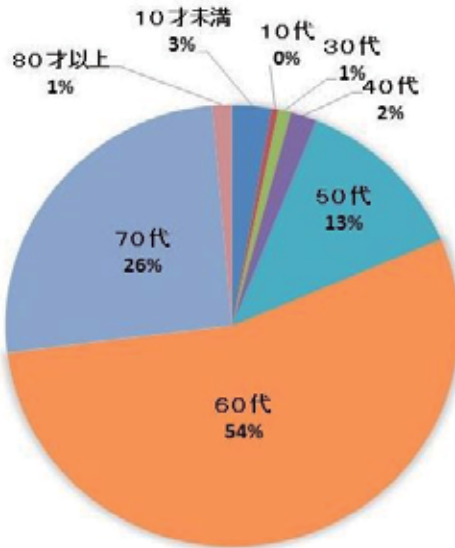
森林トレッキング(覚満淵)



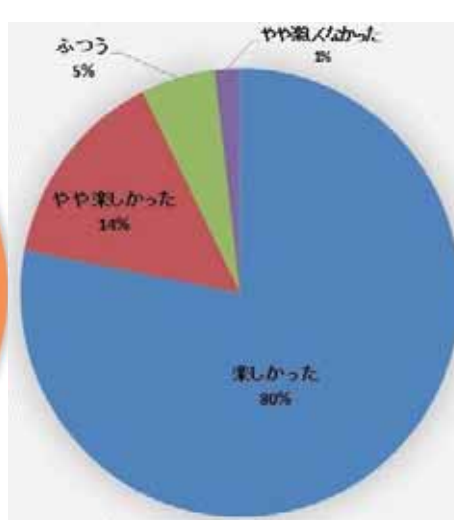
整備箇所見学(みなかみ町)

○アンケート結果

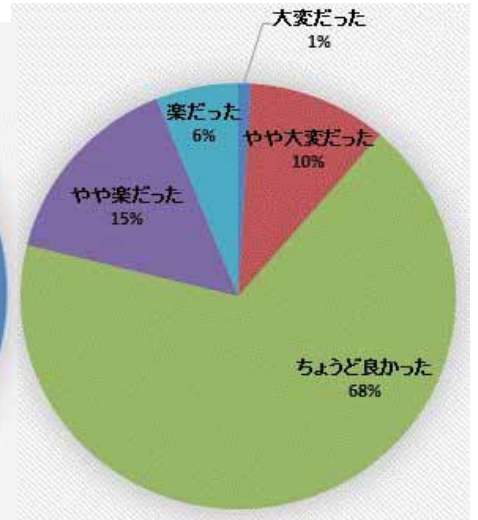
Q1 あなたの年齢はどちらにあてはまりますか



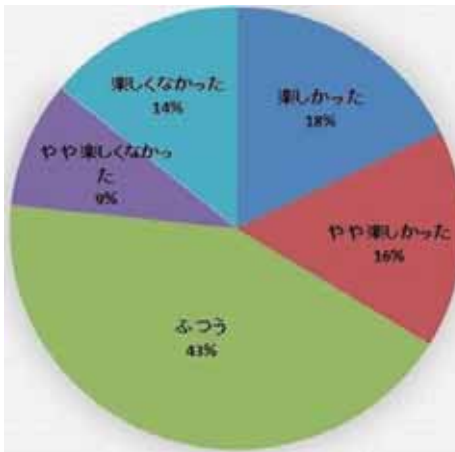
Q2 森林トレッキングについて おきかせください



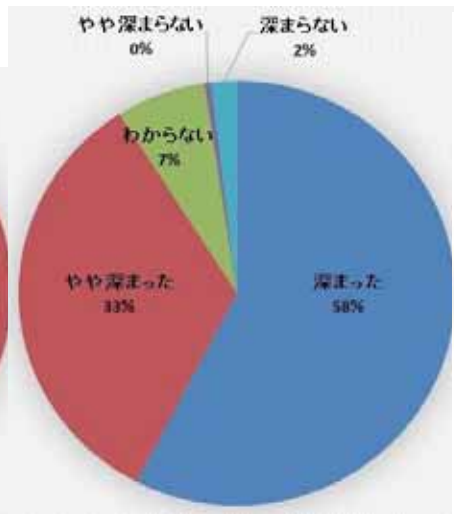
Q3 森林トレッキングの難易度についてお聞かせください



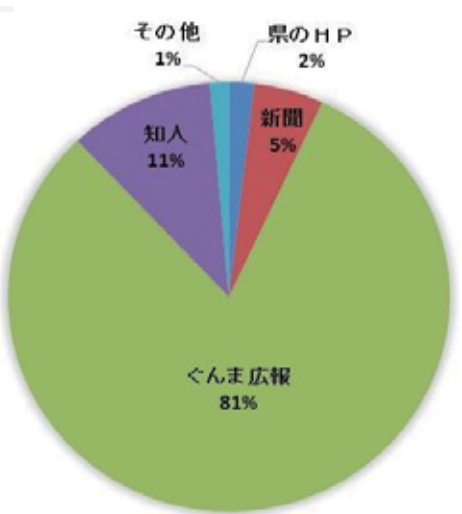
Q4 人工林整備箇所の見学についてお聞かせください



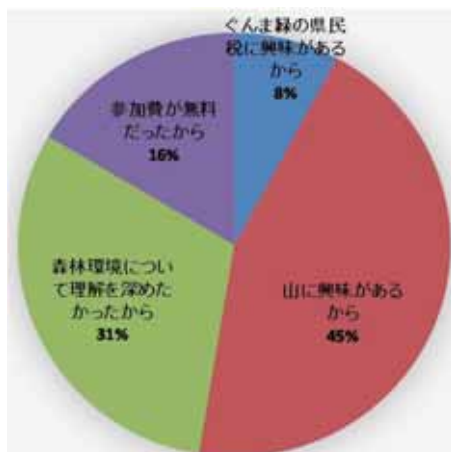
Q5 ぐんま緑の県民税に対しての理解は深まりましたか



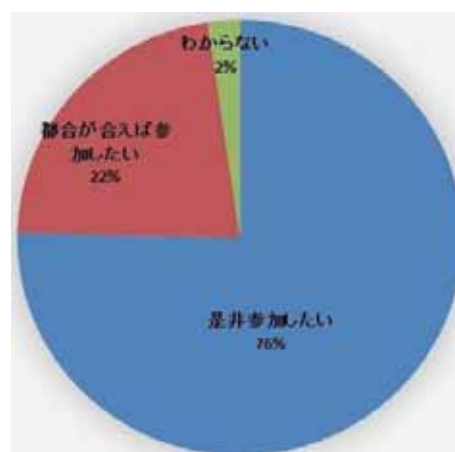
Q6 このツアーをどちらでお知りになりましたか(複数回答)



Q7 今回は、なぜ参加しようと思いましたが(複数回答)



Q8 また機会があれば参加したいと思いますか



Q9 森林トレッキングについてご意見・ご感想などございましたら、お聞かせください。

○主な意見

ガイドの解説が良かった(全コースを通しての多数意見)。
楽しかった、勉強になった(全コースを通しての多数意見)。
より多くの人に森林のことを森林トレッキングで知って欲しい。
寒かったが自然を体験できてよかった。
標本ファイルが良かった。

○次年度以降の改善につながる意見

より回数を増やして実施して欲しい。
先頭を歩く講師はもっとゆっくり歩いて欲しい。
講師の説明は先を歩いている人だけでなく後ろの人にも伝わるようにして欲しい。
年2回(春・秋等)開催してはどうか。
時期的に寒くない時がよい。
有料でもいいのでは。
天候が悪かったことを考えてお昼を食べる箇所を事前に調査して欲しい。
トイレがなくて困った。
食事時間をもう少しとってほしい。
お弁当の用意があるとうれしい。

Q10 整備箇所の見学についてご意見・ご感想などございましたら、お聞かせください。

○主な意見

森林整備の現場を見学でき、勉強になった。
里山を整備することは良いことだと思うが、森林整備後の維持管理の難しさを感じた。
土地管理者にかわって里山の役に立てる事業は素晴らしいと思う。
実施事例の現場で継続して管理が行われるのか心配である。
森林整備の実施前後の状況が大きく異なることがわかった。
今後も事業を進めて欲しい。
事業の継続の難しさがよくわかった。理解と協力が重要である。
地元のやる気や協力なくしては、整備しても効果があがらないだろう。
このような森林整備の仕方は有効な手法だと思う。機会があれば利用したい。
今回見学したところは作業に苦勞を要する場所で、継続して作業を進める必要がある。
竹の利用方法を考える必要がある。
地主にも責任がある。
私有地に税金が使われているのが納得できない。
整備した後、もとに戻らないようにしてほしい(長期的ビジョンを持って、末永く)。
森林を守るために税金が使われていることが理解できた。

Q11 ぐんま緑の県民税についてご意見・ご感想などございましたら、お聞かせください。

○主な意見

ぐんま緑の県民税について大分理解した。
環境に対する理解が得られ、有効な税だと思うが、
現場を目の当たりにしないとこの県民税は理解を得られにくい。
増税は辛いですが、県民税を良い方法で使用して欲しい。
これからもこの県民税をより深い活動に役立てて欲しい。
県民一体となってやるという所に意義がある。
「ぐんま緑の県民税」を知らない人も多いと思う さらに周知する必要がある。
まだこの県民税のことは一般的には周知されていないので、こうしたイベントの他、メディア等での広報が必要。
会計報告などを新聞等で報告してほしい。
子供の教育啓発に力を入れて欲しい印象を持った。緑を守るのも大切だが、手入れ・整備も大切である。
山林をもっと活かせる良い方法はないものかと考えさせられた。

○ 評価検証（評価検証委員会）

ぐんま緑の県民税評価検証委員会【平成26年度】

○「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」は、事業の内容検討、実績評価・効果検証を行うために設置された第三者機関です。大学教授等の学識経験者、森林の現状をよく知る森林所有者のほか、市町村、労働者団体、消費者団体、経済団体からの推薦により決定した10名の委員で構成されています。

(五十音順 敬称略)

氏名	職業・役職等	参考	任期	備考	第1回	第2回	第3回
内山 はるの	森林所有者	森林・林業関係者	H25.7.30～H27.3.31		○	○	○
金井田 好勇	館林市副市長	平地林代表市町村	H25.7.30～H27.3.31		○	欠席	欠席
金子 裕昭	連合群馬事務局長	納税者(労働団体)	H25.7.30～H27.3.31		欠席	○	○
鬼頭 春二	みなかみ町副町長	山地代表市町村	H27.2.19～H27.3.31		—	—	○
清野 紀美子	群馬県生活協同組合連合会 女性協議会会長	納税者(消費者団体)	H25.7.30～H26.7.22 松本勉枝氏へ委嘱替		○	—	—
高橋 淳子	桐生大学短期大学部 生活科学科教授	学識経験者 (環境教育)	H25.7.30～H27.3.31		欠席	○	○
田村 辰夫	森林所有者	森林・林業関係者	H25.7.30～H27.3.31		○	○	○
西岡 喬	太田商工会議所副会頭	納税者(経済団体)	H25.7.30～H27.3.31		○	○	○
西野 寿章	高崎経済大学地域政策学部 観光政策学科教授	学識経験者 (森林環境保全)	H25.7.30～H27.3.31	委員長	○	○	○
萩原 重夫	片品村副村長	山地代表市町村	H26.5.19～H27.2.19 鬼頭春二氏へ委嘱替		○	欠席	—
松本 勉枝	群馬県生活協同組合連合会 女性協議会会長	納税者(消費者団体)	H26.7.22～H27.3.31		—	○	○
宮地 由高	群馬NPO協議会相談役	学識経験者 (NPO・ボランティア活動)	H25.7.30～H27.3.31	委員長代理	○	○	○
構成員数					10	10	10
出席者数					8	8	9

ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催状況【平成26年度】

平成26年度については、ぐんま緑の県民税評価検証委員会を3回開催しました。開催の状況については次のとおりです。

(1) 平成26年度第1回ぐんま緑の県民税評価検証委員会

平成26年6月23日(月) 10:00～12:00 県庁29階 第一特別会議室

・出席者

委員:西野委員長ほか7名
県:青木環境森林部長ほか13名
事務局:林政課職員4名

・主な議事

・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業(荒廃した里山・平地林の整備、貴重な自然環境の保護・保全、森林環境教育・普及啓発、森林の公有林化)の採択事業内容について
・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業(独自提案事業)の採択事業整理案について

(2) 平成26年度第2回ぐんま緑の県民税評価検証委員会

平成26年11月10日(月) 13:30～15:30 県庁7階 審議会室

・出席者

委員:西野委員長ほか7名
県:青木環境森林部長ほか13名
事務局:林政課職員4名

・主な議事

・ぐんま緑の県民基金事業の進捗状況について
・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業【第2次募集】(荒廃した里山・平地林の整備、貴重な自然環境の保護・保全、森林環境教育・普及啓発、森林の公有林化)の採択事業内容について
・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業【第2次募集】(独自提案事業)の採択事業整理案について
・荒廃した里山・平地林の整備「困難地整備支援」における補助区分の追加について
・市町村からの要望への対応について

(3) 平成26年度第2回ぐんま緑の県民税評価検証委員会 追加協議

平成26年11月12日 書面協議 (平成26年11月14日 委員会としての承認)

・主な議事

・荒廃した里山・平地林の整備「困難地整備支援」における補助区分の追加について
・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業【第2次募集】の採択事業内容について
※第2回ぐんま緑の県民税評価検証委員会において保留とされた項目について、新たな補助区分の追加に基づき整理した県補助額を記載

(4)平成26年度第3回ぐんま緑の県民税評価検証委員会

平成27年3月17日(火) 9:30~12:00 県庁29階 第一特別会議室

・出席者

委員:西野委員長ほか8名
県:青木環境森林部長ほか13名
事務局:林政課職員4名

・主な議事

- ・ぐんま緑の県民基金事業(26年度実施見込、27年度計画)について
- ・平成27年度ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業【第1次募集】(荒廃した里山・平地林の整備、貴重な自然環境の保護・保全、森林環境教育・普及啓発、森林の公有林化)の採択事業内容について
- ・荒廃した里山・平地林の整備「困難地整備支援」における補助区分の追加について
- ・森林環境教育・普及啓発における補助区分の追加について
- ・平成27年度ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業【第1次募集】(独自提案事業)の採択整理案について

(5)平成26年度第3回ぐんま緑の県民税評価検証委員会 追加協議

平成27年4月10日 書面協議 (平成27年4月23日 委員会としての承認)

主な議事

- ・森林環境教育・普及啓発における補助区分の追加について
 - ・平成27年度ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業【第1次募集】の採択事業内容について
- ※第3回ぐんま緑の県民税評価検証委員会において保留とされた項目について、森林環境教育・普及啓発における補助区分の追加に基づき整理した県補助額を記載

ぐんま緑の県民税評価検証委員会【平成27年度】

○「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」は、事業の内容検討、実績評価・効果検証を行うために設置された第三者機関です。大学教授等の学識経験者、森林の現状をよく知る森林所有者のほか、市町村、労働者団体、消費者団体、経済団体からの推薦により決定した10名の委員で構成されています。

(五十音順 敬称略)

氏名	職業・役職等	参考	任期	備考	第1回	第2回	第3回
内山 はるの	森林所有者	森林・林業関係者	H27.4.1～H29.3.31		○	○	○
金井田 好勇	館林市副市長	平地林代表市町村	H27.4.1～H29.3.31		○	○	○
金子 裕昭	連合群馬事務局長	納税者(労働団体)	H27.4.1～H29.3.31		○	○	○
鬼頭 春二	みなかみ町副町長	山地代表市町村	H27.4.1～H29.3.31		○	○	欠席
高橋 淳子	桐生大学短期大学部 生活科学科教授	学識経験者 (環境教育)	H27.4.1～H29.3.31		○	○	欠席
田村 辰夫	森林所有者	森林・林業関係者	H27.4.1～H29.3.31		○	○	○
西岡 喬	太田商工会議所副会頭	納税者(経済団体)	H27.4.1～H29.3.31		○	○	欠席
西野 寿章	高崎経済大学地域政策学部 観光政策学科教授	学識経験者 (森林環境保全)	H27.4.1～H29.3.31	委員長	○	○	○
松本 勉枝	群馬県生活協同組合連合会 女性協議会会長	納税者(消費者団体)	H27.4.1～H29.3.31		○	欠席	○
宮地 由高	群馬NPO協議会相談役	学識経験者 (NPO・ボランティア活動)	H27.4.1～H29.3.31	委員長代理	欠席	○	○
構成員数					10	10	10
出席者数					9	9	7

ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催状況【平成27年度】

平成27年度については、ぐんま緑の県民税評価検証委員会を3回開催しました。開催の状況については次のとおりです。

(1)平成27年度第1回ぐんま緑の県民税評価検証委員会

平成27年8月17日(月) 9:30~12:00 県庁29階 第一特別会議室

・出席者

委員:西野委員長ほか8名
県:青木環境森林部長ほか14名
事務局:林政課職員5名

・主な議事

- ・平成26年度ぐんま緑の県民基金事業実績について
- ・ぐんま緑の県民税効果検証のための調査経過
- ・平成27年度ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業【第2次募集】の採択事業内容について

(2)平成27年度第2回ぐんま緑の県民税評価検証委員会

平成27年12月14日(月) 14:00~15:30 県庁7階 審議会室

・出席者

委員:西野委員長ほか8名
県:青木環境森林部長ほか12名
事務局:林政課職員5名

・主な議事

- ・平成26年度ぐんま緑の県民基金事業実施報告書について
- ・平成27年度ぐんま緑の県民基金事業の進捗状況について
- ・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業の評価方法について

(3)平成27年度第3回ぐんま緑の県民税評価検証委員会

平成28年3月18日(金) 10:00~11:30 県庁7階 審議会室

・出席者

委員:西野委員長ほか6名
県:青木環境森林部長ほか11名
事務局:林政課職員5名

・主な議事

- ・平成27年度ぐんま緑の県民基金事業について
- ・平成28年度ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業について
- ・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業の評価方法について

ぐんま緑の県民税評価検証委員会【平成28年度】

○「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」は、事業の内容検討、実績評価・効果検証を行うために設置された第三者機関です。大学教授等の学識経験者、森林の現状をよく知る森林所有者のほか、市町村、労働者団体、消費者団体、経済団体からの推薦により決定した10名の委員で構成されています。

(五十音順 敬称略)

氏名	職業・役職等	参考	任期	備考	第1回	第2回
内山 はるの	森林所有者	森林・林業関係者	H27.4.1～H29.3.31		○	○
金子 裕 昭	連合群馬事務局長	納税者(労働団体)	H27.4.1～H29.3.31		○	○
鬼頭 春 二	みなかみ町副町長	山地代表市町村	H27.4.1～H29.3.31		○	○
小山 定 男	館林市副市長	平地林代表市町村	H28.4.22～H29.3.31		○	○
高橋 淳 子	桐生大学短期大学部 生活科学科教授	学識経験者 (環境教育)	H27.4.1～H29.3.31		○	○
田村 辰 夫	森林所有者	森林・林業関係者	H27.4.1～H29.3.31		○	○
西岡 喬	太田商工会議所副会頭	納税者(経済団体)	H27.4.1～H29.3.31		○	○
西野 寿 章	高崎経済大学地域政策学部 観光政策学科教授	学識経験者 (森林環境保全)	H27.4.1～H29.3.31	委員長	○	○
松本 勉 枝	群馬県生活協同組合連合会 女性協議会会長	納税者(消費者団体)	H27.4.1～H29.3.31		○	○
宮地 由 高	群馬NPO協議会相談役	学識経験者 (NPO・ボランティア活動)	H27.4.1～H29.3.31	委員長代理	○	○
構成員数					10	10
出席者数					10	10

ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催状況【平成28年度】

平成28年度については、ぐんま緑の県民税評価検証委員会を2回開催しました。開催の状況については次のとおりです。

(1) 平成28年度第1回ぐんま緑の県民税評価検証委員会

平成28年9月5日(月) 10:00～12:00 県庁29階 第一特別会議室

・出席者

委員:西野委員長ほか9名
県:井田環境森林部長ほか12名
事務局:林政課職員4名

・主な議事

- ・平成27年度事業実績及び平成28年度事業経過報告
- ・平成27年度事業実績報告書について

(2) 平成28年度第2回ぐんま緑の県民税評価検証委員会

平成29年3月21日(火) 10:00～12:00 県庁7階 審議会室

・出席者

委員:西野委員長ほか9名
県:井田環境森林部長ほか13名
事務局:林政課職員4名

・主な議事

- ・平成28年度ぐんま緑の県民基金事業について
- ・平成29年度市町村提案型事業について
- ・平成29年度市町村提案型事業の採択について(独自提案)
- ・市町村提案型事業の評価について(平成26年度開始箇所)

○ 評価検証委員会の意見

年度	総括意見
平成26年度	<p>●森林県である群馬県に、県民参加型のぐんま緑の県民税が導入されたことは、高く評価される。初年度は、市町村、県民への周知機会と時間が限られたことから、浸透度が低かったことは否めないが、多くの県民の皆様に、この事業を通じて、森林、里山の現状、県土保全の重要性がこれまでに増して認識いただけるようになったものと捉えられ、導入の意義は十分に評価できる。</p> <p>●しかしながら、準備期間が短かったこともあり、山林所有者や地元との調整が難航したことから、今後は関係各所の協力を得て、よりスムーズに事業が進められるような工夫が必要であろう。</p> <p>●また、整備希望地域の高齢化問題など、制度設計時には想定していなかった新たな検討事項も出てきた。税事業を導入するにあたり設立された有識者会議[※]では、一定の想定のもとに事業内容が決定され、基金の使途も決定されているが、県民ニーズに対応するためには、基金使用の透明化を担保しつつ、柔軟な対応も求められる。</p> <p>※：森林環境税制に関する有識者会議</p>
平成27年度	<p>●1年目は、税の導入決定から実施までの期間が短かったこともあり、市町村・県民への浸透がスムーズではなかったが、積極的な普及啓発活動が功を奏して、2年目は県下31の市町村で本税による事業が展開されるようになった。</p> <p>引き続き、普及啓発を図り、3年目では全35市町村で展開されるように推進すること。</p> <p>●水源地域等の森林整備については、依然として整備対象森林の所有者確定と境界確定が困難を極め、事業が計画通りに進展していないが、引き続き、市町村・森林組合等と連携し、森林所有者には誠意を持って本税の趣旨を説明し、少しでも多くの森林の整備が図れるように努めること。</p> <p>なお、森林整備に際しては、林齢や林相に応じて間伐率を変えるなど、対象地の森林特性に合致した間伐を実施すること。</p> <p>●森林ボランティア活動・森林環境教育の推進については、森林ボランティアへの参加人数が5千人を超え、県民による活動が活発化している点は評価される。</p> <p>特に本県の次代を担う子供達への森林環境教育は、本県の今後を考える上で重要であり、教育委員会・小中学校・高等学校などとも連携して、森林ボランティア、緑のインタープリターの育成・派遣をさらに推進すること。</p> <p>●市町村提案型事業については、2年目に入り、導入市町村数・件数とも増加しており、普及啓発の効果が現れていると認められる。</p> <p>イノシシ等の被害が全県的に発生している現状をふまえ、鳥獣被害対策事業とも連携し、県民の安全がより守られるような森林整備についても検討すること。</p> <p>●制度運営については、順調に進んでいると認められる。</p> <p>水源地域等の森林整備については、諸般の事情から遅れがみられるものの、概ね当初の計画通りに推進されており、基金の使途についても妥当であると認められる。</p> <p>引き続き、県民の理解を得られるように、普及啓発と事業推進を図ること。</p>
平成28年度	<p>●ぐんま緑の県民税が導入され、3年が経過した。導入初年度は、市町村、県民への普及啓発が不足していたこともあり、十分な成果が得られたとは言えなかったが、2年目からは市町村、県民への浸透の効果が現れて、3年目に入ると浸透度が更に増して、着実に県全体に広がりを見せるようになってきたことは高く評価される。</p> <p>●条件不利地の森林整備事業は、森林所有者の所在確認や承諾、境界線の確定などに時間を要しており、進捗状況は高いとは言えないものの、本基金によって初めて手がけられた事業であり、地域の森林の状況を熟知している県だからこそ可能となる事業であると評価される。今後は、自治体、森林組合の一層の協力を得て、作業効率を高めて、進捗率を高めること。</p> <p>●森林ボランティア活動については、普及啓発の成果が、森林ボランティア団体数、会員数に現れており、着実に成果が積み重ねられており、高く評価できる。インタープリターの育成も順調に推移しており、園児や児童生徒、県民全体への森林環境教育が広がっている。このことは、ぐんま緑の県民税の意義についても理解を深めることに結びつき、森林県である本県において官民一体となった分権型地域づくりの一つのモデルとして高く評価できる。今後は、さらに県民への普及啓発を進め、全県に広がっていくことに期待する。</p> <p>●市町村提案型事業については、平成26年度の29市町村117事業から、平成27年度は31市町村208事業まで増加し、平成28年度は35全市町村266事業まで増加し、県下全市町村で取り込まれるようになったことは高く評価できる。これは、本基金への自治体、住民への浸透度が年々高まってきたからであり、県民参加によって里山整備が進められた。また、希少種の保護など、県民によって環境保全も図られるようになり、後世に群馬の自然環境を伝えることができることも高く評価される。こうした地域の生活環境の改善は、本税を導入したからこそ進められるようになり、ぐんま緑の県民税の導入趣旨に適ったものと評価できる。ただし、事業の継続性に課題が残っており、市町村提案型事業においてB評価が付けられた理由の多くは、この点にあるからでもある。里山の整備や自然環境の保全事業が一過性事業とならないために、県民税の継続を検討し、本事業の継続性を担保することが重要となっている点には留意すること。</p> <p>●制度運営については、順調に進んでいると認められるが、効果検証をさらに進めるためには、現地調査や実際に事業に参画している県民へのヒアリングなどを行うこと。</p> <p>●以上より、森林整備事業については進捗率が低いものの、その理由は概ね想定されていたことであることを配慮すると、本基金は概ね当初の計画通りに推進されており、基金の使途についても妥当であると認められる。</p> <p>●ただし、諸事業が一過性の事業とならないようにすることが自治体、県民からも求められており、現状の問題点や課題を整理し、事業の継続性、改善の方向を検討すること。</p>

年度	「Ⅰ 水源地域等の森林整備」への意見
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ●林業不況に伴って人工林の荒廃が進んでいることから、この事業は重点的に取り組まれるべき事業である。 ●しかし、実際に事業を開始して、山林所有者の確認や境界の明確化、承諾に予想以上の時間と労力がかかっている。 ●今後は、山林所有者への確認等について、森林組合だけでなく、市町村の担当部署にも協力を求めて、事業の推進を図ることが必要である。
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ●本事業は、ぐんま緑の県民税の中核となる事業であり、森林の公益的機能を高めるために有益な事業である。 ●森林整備に際し、所有者の確認と境界の確定は依然として時間を要しているが、これは予想されていたことであり、懸命の取り組みは認められるので、今後も森林組合・市町村の協力を得ながら、一層のスピード感を持って事業を遂行すること。 ●森林所有者が、ぐんま緑の県民税の趣旨をよく理解し、事業遂行に協力いただけるよう、関係者が誠意を持って任に当たること。 ●効果検証のための「植被率」は、期間が短いため明確な向上は見られていないが、事業効果が県民にわかるように、数値による「見える化」を行うこと。 ●林齢や林相に応じて間伐率を変えるなど、対象地の森林特性に合致した間伐を進めること。 ●林業労働力の安定確保のための施策についても検討すること。
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ●本基金において予算配分が最も多い条件不利地森林整備の年度別進捗率は、平成27年度66.6%、平成28年度25.8%となっている。全体の計画面積3,500ha内、整備を完了したのは3年間で910haとなっており、全体の進捗率は26%となっている。この要因は、当該森林の所有者の所在が解らず、境界線の確定なども遅れているからである。これは、本基金のスタート時点において想定されていたことであるが、目標面積を達成するために、自治体、森林組合に一層の協力をお願いして、進捗率の向上に努めること。 ●水源地機能増進のための森林整備の進捗率は、平成27年度141%、平成28年度87%と高水準で推移している。目標面積の達成のために、さらに計画的に進めること。 ●松くい虫被害地の再生のための森林整備の進捗率は、平成27年度155%、平成28年度73%となっている。計画面積の36%を完了しているが、目標面積を達成するために取り組むこと。 ●全般的には、計画に遅れが見られる。これは山村地域の過疎化、高齢化に伴い、山林所有者の特定、境界線の確定がスムーズに進められないことが背景となっており、難しい側面もあるが、自治体、森林組合の協力を得て、進捗率向上のために一層の工夫を行うこと。 ●以上のような現状、課題があるものの、条件不利地の森林整備は、本基金によって初めて手がけられた事業であり、地域の森林の状況を熟知している県だからこそ可能となる事業であると評価される。
年度	「Ⅱ 森林ボランティア活動・森林環境教育の推進」への意見
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ●これまで個別に取り組まれてきた森林ボランティア活動の拠点としての支援センターが設置されたことは大きな前進である。森林整備作業器具の貸し出しも順調に行われ、県民参加が進んだことは評価できる。 ●森林環境教育を推進するために、緑のインタープリターのさらなる育成と活躍の場の設定をシステム的に行うことが必要である。
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ●当初の計画通り事業が遂行されていると認められる。 ●森林ボランティアの会員数が5千人を超え、活動が活発になっており、事業遂行の成果が認められる。 ●子供達への森林環境教育を教育委員会などと連携して推進すること。 ●活動を通して、森林の大切さを学んだ子供たちが、大人になり、親となった時に次世代につなげていけるような流れがつかれるよう取り組むこと。 ●情報発信は、積極的に進めること。 ●県内各地で緑のインタープリターが活躍しているので、今後も多くの県民に森林の現状や大切さを知っていただくよう、積極的な活動を推進すること。
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ●森林ボランティア活動の普及啓発を進めた結果、平成28年度末における森林ボランティア団体数は86を数え、会員数は5,344人に達しており、当該事業の成果は着実に積み重ねられている。 ●インタープリターについても新たに26名が加わり登録者は94名に達し、森林環境教育に多大なる貢献をいただき、当該事業の成果も着実に積み重ねられている。 ●こうした動きは、ぐんま緑の県民税の導入によって拡大、定着し、県民の森林への関心を高めつつあるといってもよい。また園児や児童生徒への森林環境教育も市町村提案が他事業にも組み込まれて広がっており、森林県である本県にとって、たいへん意義深い。 ●県民が森林県である県の特性に理解を深めることは、ぐんま緑の県民税の意義についても理解を深めることに結びつき、官民一体となった分権型地域づくりの一つのモデルとして高く評価できる。今後は、さらに県民への普及啓発を進め、全県に広がっていくことに期待したい。

年度	「Ⅲ 市町村提案型事業（市町村補助）」への意見
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ●初年度は、周知期間の関係から市町村へ事業内容が十分に浸透しなかったことから出足は鈍かったが、住民に身近な里山・平地林の整備が進められ、安心・安全な生活環境の整備に寄与できた点は評価できる一方、地元との調整が難航した例もあり、今後は提案する際の地域の合意形成の状況把握を行うことが必要だと思われる。 ●なお、県民ニーズと制度設計時における想定にズレが生じている場合もあり、十分な検討が必要とされる。
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ●事業数は、平成26年度の29市町村117事業から、平成27年度は31市町村208事業まで増加し、県の普及啓発の効果が現れている。引き続き本税の活用方法をわかりやすく伝え、全市町村で取り組めるように推進すること。 ●森林環境教育・普及啓発事業についても、平成26年度に比べ、参加者が約3倍近く増加しており、ぐんま緑の県民税をきっかけとして、森林県として森林の保全と活用の重要性が多くの県民に伝えられるようになったことは、本税の趣旨に沿い、県の努力も認められる。 ●イノシシ等の被害が全県的に発生している現状をふまえ、本税による事業だけでは限界があることから、鳥獣害対策事業とも連携し、県民の安全を守るように進めること。 ●里山の整備は、事業効果が県民に見える形となっている。今後さらなる充実を図ること。
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ●事業数は、平成26年度の29市町村117事業から、平成27年度は31市町村208事業まで増加し、平成28年度は35全市町村266事業まで増加した。これは、本基金への自治体、住民の認識及び浸透度が年々高まってきたからだと考えられる。 ●県民参加によって里山整備が進められ、地域の生活環境の改善が進められている現状は、高く評価される。 ●希少種の保護など、環境保全も図られるようになり、後世に群馬の自然環境を伝えることが出来ることも高く評価される。 ●事業の継続性に課題が残っている。里山の整備や自然環境の保全事業が一過性にならないようにして、永く保全可能とするため、本事業の継続性が重要だと考えられる。

年度	「Ⅳ 制度運営」への意見
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ●初年度は、普及啓発に力が注がれ、その結果、市町村・県民への浸透は一定程度進んできたものと捉えられる。ぐんま広報やホームページに、本事業の内容や成果について、わかりやすく掲載して、さらなる県民の理解を得ることも必要だと考えられる。
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ●本税によって森林整備に取り組む自治体が31市町村になり、自治体には本制度がかなり浸透してきたものと認められる。引き続き、県・市町村・関係団体が連携し、さらなる県民理解に結びつくように事業を推進すること。 ●子供達や広く県民への森林環境教育に合わせて、「税」についての理解も深めていただけるような取り組みが引き続き必要である。
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ●普及啓発の効果は、森林ボランティア活動団体の増加、会員数の増加、市町村提案型事業の内容に反映されている。群馬県独自の森林環境税の導入によって、これまで自治体も県民も目を向けなかった、あるいは向けられなかった里山、森林の現状改善、希少種の保護に大きく寄与し、県が一体となって、自らの地域の森林の保全や整備に取り組む姿が具現化してきたことに現れており、事業は着実に成果を挙げていると評価できる。 ●評価検証については、事業実施地の状況を検証して、評価と課題の析出を行うこと。

ぐんま緑の県民税（森林環境の保全に係る県民税均等割超過課税）の仕組み

区分	個人	法人																																												
名称	この税は、税制上は「森林環境の保全に係る県民税均等割の超過課税」ですが、皆様に広く知っていただくための通称として「ぐんま緑の県民税」を使用し、周知に努めています。																																													
課税の方法	個人の県民税均等割、法人の県民税均等割に一定額を上乗せします。																																													
納める方	県内に住所がある人、事務所又は家屋敷などを持っている人（前年の所得金額が一定基準を下回るなど一定の条件を満たす人は非課税）	県内に事務所・事業所又は寮などを持っている法人等																																												
年間の納税額（率）	年間700円 【個人の住民税均等割額】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>県民税均等割</th> <th>市町村民税均等割</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上乗せ前の均等割額</td> <td>1,000円</td> <td>3,000円</td> <td>4,000円</td> </tr> <tr> <td>東日本大震災からの復興を図る基本理念に基づき実施する防災施策の財源（平成26年度から35年度までの10年間）</td> <td>500円</td> <td>500円</td> <td>1,000円</td> </tr> <tr> <td>ぐんま緑の県民税（平成26年度から30年度までの5年間）</td> <td>700円</td> <td>— 円</td> <td>700円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,200円</td> <td>3,500円</td> <td>5,700円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	県民税均等割	市町村民税均等割	合計	上乗せ前の均等割額	1,000円	3,000円	4,000円	東日本大震災からの復興を図る基本理念に基づき実施する防災施策の財源（平成26年度から35年度までの10年間）	500円	500円	1,000円	ぐんま緑の県民税（平成26年度から30年度までの5年間）	700円	— 円	700円	合計	2,200円	3,500円	5,700円	資本金等の額により年間1,400円～56,000円 （県民税均等割の税額の7%相当額） 【法人の県民税均等割額】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資本金等の額</th> <th>1千万円以下など</th> <th>1千万円超～1億円以下</th> <th>1億円超～10億円以下</th> <th>10億円超～50億円以下</th> <th>50億円超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上乗せ前の均等割額</td> <td>20,000円</td> <td>50,000円</td> <td>130,000円</td> <td>540,000円</td> <td>800,000円</td> </tr> <tr> <td>ぐんま緑の県民税（7%相当額）</td> <td>1,400円</td> <td>3,500円</td> <td>9,100円</td> <td>37,800円</td> <td>56,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21,400円</td> <td>53,500円</td> <td>139,100円</td> <td>577,800円</td> <td>856,000円</td> </tr> </tbody> </table>	資本金等の額	1千万円以下など	1千万円超～1億円以下	1億円超～10億円以下	10億円超～50億円以下	50億円超	上乗せ前の均等割額	20,000円	50,000円	130,000円	540,000円	800,000円	ぐんま緑の県民税（7%相当額）	1,400円	3,500円	9,100円	37,800円	56,000円	合計	21,400円	53,500円	139,100円	577,800円	856,000円
区分	県民税均等割	市町村民税均等割	合計																																											
上乗せ前の均等割額	1,000円	3,000円	4,000円																																											
東日本大震災からの復興を図る基本理念に基づき実施する防災施策の財源（平成26年度から35年度までの10年間）	500円	500円	1,000円																																											
ぐんま緑の県民税（平成26年度から30年度までの5年間）	700円	— 円	700円																																											
合計	2,200円	3,500円	5,700円																																											
資本金等の額	1千万円以下など	1千万円超～1億円以下	1億円超～10億円以下	10億円超～50億円以下	50億円超																																									
上乗せ前の均等割額	20,000円	50,000円	130,000円	540,000円	800,000円																																									
ぐんま緑の県民税（7%相当額）	1,400円	3,500円	9,100円	37,800円	56,000円																																									
合計	21,400円	53,500円	139,100円	577,800円	856,000円																																									
納税の方法	個人の県民税として、個人の市町村民税と併せて市町村に納税していただきます（個人の県民税は市町村から県へ払い込まれます）。	法人の県民税として、従来の申告書により、直接県に申告納付していただきます。																																												
導入の時期	平成26年度課税（平成25年所得分）から	平成26年4月1日以後に終了する事業年度分から																																												
課税の期間	5年間																																													
税収見込額	約8.2億円（個人：約6.6億円 法人：約1.6億円） ※金額は平年度ベース。初年度の平成26年度は約6.2億円。																																													
使い道の明確化	ぐんま緑の県民税の税収に相当する額を「ぐんま緑の県民基金」に積み立てた上で、森林環境を保全するための施策に充て、使い道を明確にします。																																													
事業内容の検討・評価	県民等で構成する第三者機関「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」において、事業の内容検討・実績評価・効果検証などを行います。																																													

○税の使い道など森林保全に関すること／環境森林部林政課
Tel：027-226-3278 Fax：027-223-0154

○税の仕組みに関すること／総務部税務課
Tel：027-226-3771 Fax：027-221-8096

○ この実施報告書 VI 資料集に関するお問い合わせ先

群馬県環境森林部 林政課 林政推進係
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1
Tel:027-226-3278 Fax:027-223-0154
E-mail :rinseika@pref.gunma.lg.jp



○ ぐんま緑の県民税ホームページ
<http://www.pref.gunma.jp/04/e3000101.html>